

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会 富山県部会

平成 28 年 12 月 21 日 (水)
15 : 30 ~ 17 : 00
富山河川国道事務所 3 階 大会議室

< 議 事 次 第 >

1. 開 会
2. 富山県部会長 挨拶
3. 議 題
 - (1) 平成 28 年度の活動状況の報告
 - － 建設系学生・生徒への取り組み
 - － 中学・小学校（保護者や教員等含む）等への取り組み
 - － インターンシップ実施状況
 - (2) 平成 29 年度の活動予定、その他意見交換 等
4. 閉 会

< 配 布 資 料 >

- ・ 議事次第
- ・ 配席図
- ・ 出席者名簿
- ・ 設立趣旨・規約
- ・ 資料 1 富山部会メーリングリスト (H28.4 現在)
- ・ 資料 2-1 平成 28 年度活動報告 (建設系学生・生徒向け)
- ・ 資料 2-2 平成 28 年度活動報告 (中学・小学校(保護者や教員等含む)向け)
- ・ 資料 3 インターンシップ実施結果 (富山県インターンシップ推進協議会提供)
- ・ 資料 4 富山労働局からの情報提供
- ・ 資料 5 平成 29 年度活動予定
- ・ 資料 6 議題及び報告事項

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会富山県部会 2016/12/21 出席者名簿

所 属	役 職	氏名	出席	
(一社)日本建設業連合会	北陸支部 広報委員	永田 健二	○	
(一社)富山県建設業協会	常務理事	木嶋 弘	○	
(一社)建設コンサルタンツ協会	北陸支部 副支部長	吉田 攻	×	(代理:田中 義明)
(一社)富山県測量設計業協会	会長	栄 知之	×	
	副会長	鷲北 慎一	○	
富山大学 工学部長		堀田 裕弘	×	(代理:原 隆史)
富山県立大学 工学部環境工学科		手計 太一	×	
富山工業高校	校長	當流谷正博	○	
	土木工学科長	帰山 寛	○	
桜井高校	校長	高松 敬郎	○	
	土木科学科長	稲垣 利治	○	
高岡工芸高校	土木環境科主任	内山 純治	○	
南砺福野高校	農業環境科長	中藪 睦	○	
富山労働局	職業対策課長	森本 滋	○	
北陸地方整備局 建政部	計画・建設産業課長	荒川 雅之	○	
富山河川国道事務所	事務所長	福濱 方哉	○	
富山県	土木部参事・建設技術企画課長	舟田 浩志	×	(代理:茂崎 忠博)
富山県教育委員会	県立学校課長	荒木 義雄	×	(代理:岩原 善延)
富山県地質調査業協会	会長	津嶋 春秋	○	
(一社)日本道路建設業協会	北陸支部 幹事	林 和夫	×	

○：部会長

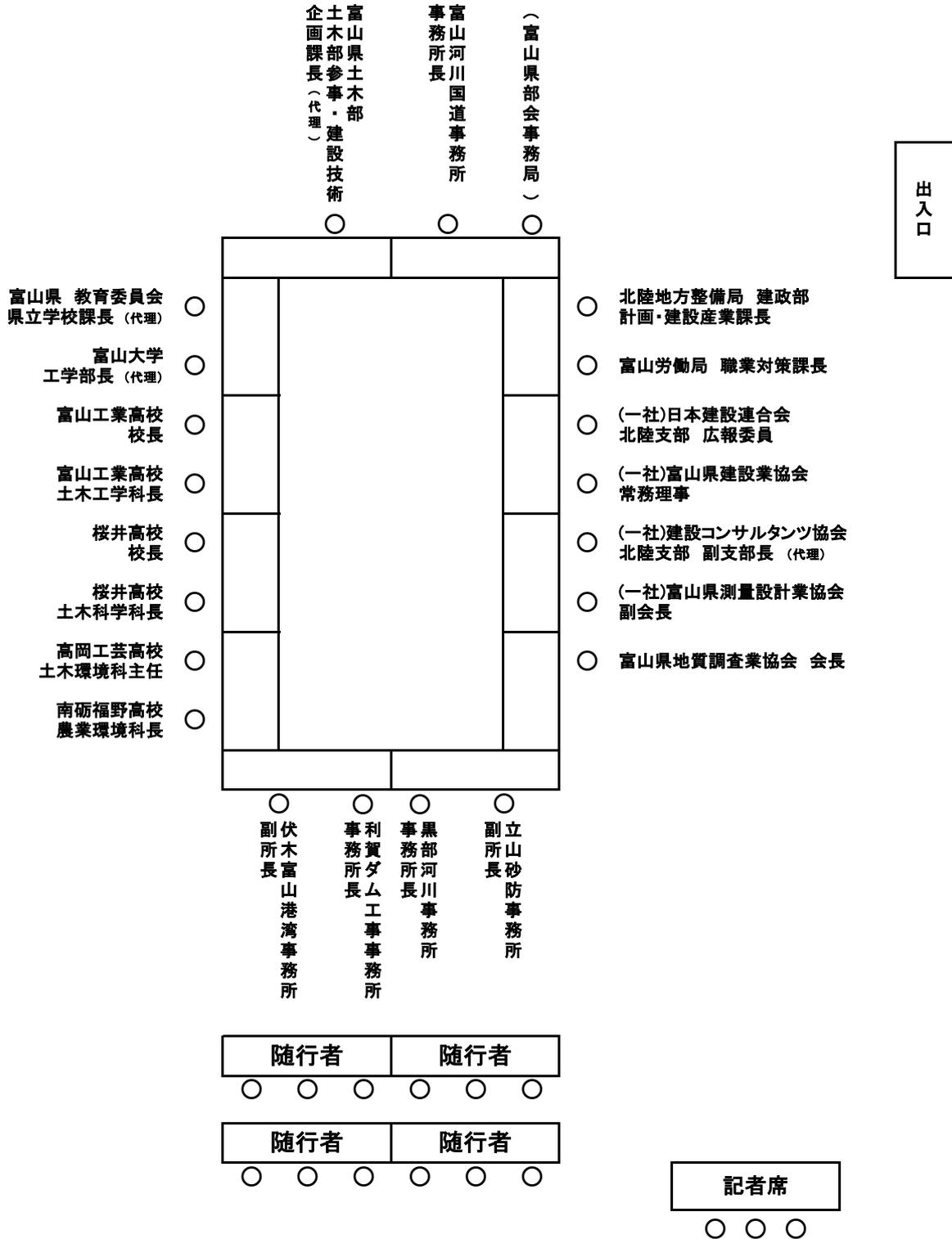
オブザーバー

立山砂防事務所	副所長	浅井 誠二
立山砂防事務所	調査課長	石井 崇
黒部河川事務所	事務所長	藤田 士郎
黒部河川事務所	調査課長	山田 義仁
利賀ダム工事事務所	事務所長	黒田 勇一
伏木富山港湾事務所	副所長	関口 忠志
伏木富山港湾事務所	前任建設管理官	若島宏治

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会 富山県部会 配 席 図

日時:平成28年 12月21日(水)15:30~17:00

会場:富山河川国道事務所 3階大会議室



北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会

設立趣旨

北陸地方における建設界では、少子高齢化の進展や労働人口の減少に加え、近年の建設投資の大幅な減少による受注競争の激化等により、建設業者数や建設業就業者数も減少しており、とりわけ離職者の増加や若年入職者の減少等の厳しい状況に直面している。また、これらの状況については、これまで建設界の持つ魅力を建設界全体として発信することや建設界に対する好印象を醸成することが、うまくできてこなかったことも主因の一つと考えられる。

このような状況下においては、将来にわたる社会資本の整備・維持管理及びその品質確保や、冬期の除雪を含む災害時の対応等を通じた地域の維持等に支障が生じることが懸念されることから、地域における担い手の確保・育成は極めて重要な課題となっており、平成26年には、「公共工事の品質確保の促進に関する法律」、「建設業法」「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」のいわゆる担い手三法が改正され、建設工事の担い手の育成と確保について、建設業者団体や国等の責務が明確化されたところである。

上記をふまえ、北陸地方における建設界の担い手をめぐる現状や課題に関する認識を共有し、建設界の担い手不足に対し、建設関係団体、教育機関、関係行政機関等が一体となって担い手の確保・育成の取組みを推進することを目的としたプラットフォームとして、「北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会」を設置する。

「北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会」規約

（設置）

第1条 北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

（目的）

第2条 協議会は、北陸地方における建設界の担い手をめぐる現状や課題に関する認識を共有し、建設界の担い手不足に対し、建設関係団体、教育機関、関係行政機関等が一体となって担い手の確保・育成の取組みを推進することを目的とする。

（構成員）

第3条 協議会の構成員は、別紙1のとおりとする。

（座長）

第4条 協議会の座長は、北陸地方整備局長をもってあたる。

2 座長に事故があるときは、構成員のうちから座長が指名する者が、その職務を代理する。

（会議）

第5条 協議会の会議は、座長が招集する。

2 構成員は、あらかじめ指名した者を代理として会議に出席させることができる。

3 座長が必要と認めるときは、構成員以外の者に対し、協議会に出席してその意見を述べ又は説明を行うことを求めることができる。

（部会）

第6条 地域における特定の課題等について検討を行うため、新潟、富山、石川の各県に部会を置く。

2 各部会は、別紙2に掲げる会員をもって構成する。

3 各部会の部会長は、別紙2のとおりとする。

4 部会長が必要と認めるときは、会員以外の者に対し、部会に出席してその意見を述べ又は説明を行うことを求めることができる。

（事務局）

第7条 会議および部会の庶務は、北陸地方整備局企画部及び建政部が関係機関の協力を得て処理する。

（雑則）

第8条 この規約に定めるもののほか、会議の運営に関する事項その他必要な事項は、座長が定める。

附 則 この規約は、平成26年10月3日から施行する。

附 則 この規約は、平成27年3月17日から施行する。

附 則 この規約は、平成28年3月24日から施行する。

北陸建設会の担い手確保・育成推進協議会 構成員

	所 属	役 職
1	(一社) 日本建設業連合会	北陸支部長
2	(一社) 新潟県建設業協会	会長
3	(一社) 富山県建設業協会	会長
4	(一社) 石川県建設業協会	会長
5	(一社) 建設コンサルタンツ協会	北陸支部長
6	(一社) 新潟県測量設計業協会	会長
7	(一社) 富山県測量設計業協会	会長
8	(一社) 石川県測量設計業協会	会長
9	新潟大学 工学部 建設学科	
10	長岡技術科学大学 環境・建設系	
11	富山大学 工学部長	
12	富山県立大学 工学部 環境工学科	
13	金沢大学 理工研究域 環境デザイン学類	
14	金沢工業大学 環境・建築学部 環境土木工学科	
15	長岡工業高等専門学校 環境都市工学科	
16	石川工業高等専門学校 環境都市工学科	
17	新潟工業高校	校長
18	新発田南高校	校長
19	富山工業高校	校長
20	小松工業高校	校長
21	金沢市立工業高校	校長
22	新潟労働局	職業安定部長
23	富山労働局	職業安定部長
24	石川労働局	職業安定部長
25	◎北陸地方整備局	局長
26	北陸地方整備局	企画部長
27	北陸地方整備局	建政部長
28	○北陸地方整備局	地方事業評価管理官
29	信濃川河川事務所	事務所長
30	新潟国道事務所	事務所長
31	○富山河川国道事務所	事務所長
32	○金沢河川国道事務所	事務所長
33	北陸技術事務所	事務所長
34	新潟県	土木部長
35	新潟県教育委員会	高等学校教育課長
36	新潟県教育委員会	義務教育課長
37	富山県	土木部長
38	富山県教育委員会	県立学校課長
39	石川県	土木部長
40	石川県教育委員会	教育次長 兼 学校指導課長
41	新潟市	土木部長
42	北陸地質調査業協会	理事長
43	(一社) 日本道路建設業協会北陸支部	支部長

◎ : 座長

○ : 部会長

富山県部会会員名簿

	所 属	役 職
1	(一社) 日本建設業連合会	北陸支部 広報委員
2	(一社) 富山県建設業協会	常務理事
3	(一社) 建設コンサルタント協会	北陸支部 副支部長
4	(一社) 富山県測量設計業協会	副会長
5	富山大学 工学部長	
6	富山県立大学 工学部 環境工学科	
7	富山工業高校	校長
8	富山工業高校	土木工学科長
9	桜井高校	校長
10	桜井高校	土木科学科長
11	高岡工芸高校	土木環境科主任
12	南砺福野高校	農業環境科長
13	富山労働局	職業対策課長
14	建政部	計画・建設産業課長
15	○富山河川国道事務所	事務所長
16	富山県	土木部参事・建設技術企画課長
17	富山県教育委員会	県立学校課長
18	富山県地質調査業協会	会長
19	(一社) 日本道路建設業協会	北陸支部 幹事

○：部会長

平成28年度の活動一覧表

【建設系学生・生徒への取り組み】

資料2-1

平成28年12月現在

概要資料	学校名	対象区分	活動区分	学年	人数	時期	内容	機関・団体名	支援・連携状況(機関、業団体等)	H28 新規 or継続
1 ○	富山県立大学	大学	講座	1年生	41	6月24日	講座「国土交通省北陸地方整備局の社会資本整備の取り組み」	立山砂防事務所		継続
2 ○	富山県立大学	大学	現場見学	1年生	41	7月5日	現場見学(本宮砂防堰堤、立山砂防カルデラ博物館)	立山砂防事務所		継続
3 ○	富山工業高校	高校	現場見学	1~3年生	5	8月2日~4日	現場見学および現場体験(SABO体験楽校) ※2泊3日	立山砂防事務所	(一財)富山・水・文化の財団	継続
4 ○	桜井高校	高校	現場見学	1~3年生	5	8月2日~4日	現場見学および現場体験(SABO体験楽校) ※2泊3日	立山砂防事務所	(一財)富山・水・文化の財団	継続
5 ○	桜井高校ほか	高校	現場見学と講座	3年生	16	11月8日	意見交換会、現場見学(瀬戸蔵砂防堰堤改築)	立山砂防事務所	北陸地方整備局	新規
6 ○	高岡工芸高校	高校	現場見学	3年生	40	7月13日	現場見学(国道359号砺波東バイパス 橋梁下部工事)	富山河川国道事務所		継続
7 ○	桜井高校	高校	現場見学	2年生	40	10月6日	海岸工事現場見学	黒部河川事務所	富山県建設業協会 入善支部	継続
8 ○	桜井高校	高校	現場見学	1年生	40	10月25日	宇奈月ダム見学	黒部河川事務所	富山県建設業協会 入善支部	継続
9 ○	桜井高校	高校	講座	2年生	未定	2月	講座(土木について) ※民間と公務員の仕事の違い	黒部河川事務所	富山県建設業協会 入善支部	継続
10 ○	桜井高校ほか	高校	その他	高校 大学 女性 技術	10	8月	けんせつ小町と女子学生の対談(女性の視点から見た建設業)	黒部河川事務所	黒部河川事務所	継続
11 ○	南砺福野高校	高校	現場見学と講座	1年生 2年生	37	7月12日	現場見学と座学(橋梁上部架設・ダム建設等について説明を行い理解をさせる)	利賀ダム 工事事務所	利賀ダム工事事務所	継続

平成28年度の活動一覧表

【建設系学生・生徒への取り組み】

資料2-1

平成28年12月現在

概要資料	学校名	対象区分	活動区分	学年	人数	時期	内容	機関・団体名	支援・連携状況(機関、業団体等)	H28 新規 or継続
12 ○	富山県立大学	大学	現場見学と講座	1年生	41	7月30日	現場見学と座学(橋梁上部架設・ダム建設等について説明を行い理解をさせる)	利賀ダム工事事務所	利賀ダム工事事務所	継続
13 ○	富山工業高校	高校	現場見学	1年生	40	9月6日	現場見学会(土木に対する興味を持たせる)	伏木富山港湾事務所	(一社)日本埋立浚渫協会北陸支部 伏木富山港湾事務所	継続
14 ○	富山工業高校	高校	講座	2年生	41	12月9日	座学(インフラの歴史と役割について)	伏木富山港湾事務所	伏木富山港湾事務所 富山河川国道事務所	継続
15	富山県立大学	大学	その他			8月6日	富山県立大学「ダ・ヴィンチ祭」へ建設業ブース出展 ・ドローンの実演飛行 ・ICT技術のパネル展示、映像放映	富山県土木部	(一社)富山県建設業協会	新規
16	南砺福野高校	高校	講座	1・2年生	37	10月1日	講座(建設産業の魅力と入職促進に関する情報を発信) ※対象者:高校1・2年生とその保護者	富山県土木部	(一社)富山県建設業協会	新規
17	高岡工芸高校	高校	講座	2年生	79	12月12日	講座(建設産業の魅力と入職促進に関する情報を発信) ※対象者:高校2年生とその保護者	富山県土木部	(一社)富山県建設業協会	新規
18	富山工業高校	高校	講座	1年生	80	12月13日	講座(建設産業の魅力と入職促進に関する情報を発信) ※対象者:高校1年生とその保護者	富山県土木部	(一社)富山県建設業協会	新規
19	桜井高校	高校	講座	2年生	40	12月19日	講座(建設産業の魅力と入職促進に関する情報を発信) ※対象者:高校2年生とその保護者	富山県土木部	(一社)富山県建設業協会	新規
20	桜井高校	高校	現場見学	3年生	40	6月3日	土木工事の施工方法、目的の理解 ・浦山縦工その2工事 ・沖田川放水路事業 ・富山駅連続立体事業	(一社)富山県建設業協会	富山県土木部 新川土木センター 富山県土木部都市計画課 黒部河川事務所	継続
21	富山工業高校	高校	現場見学	3年生	40	7月12日	土木工事の施工方法、目的の理解 ・新富山県立近代美術館(仮称)新築工事 ・富山中央警察署新築事業 ・農林水産総合技術センター木材研究所	(一社)富山県建設業協会	富山県土木部 営繕課 富山県農林水産総合技術センター	新規
22	高岡工芸高校	高校	現場見学	2年生	40	7月15日	土木工事の施工方法、目的の理解 ・志貴野中学校改修事業 ・勝興寺改修事業 ・新富山県立近代美術館(仮称)新築工事	(一社)富山県建設業協会	富山県土木部 営繕課 高岡市都市創造部建築住宅課	新規

平成28年度の活動一覧表

【建設系学生・生徒への取り組み】

資料2-1

平成28年12月現在

概要資料	学校名	対象区分	活動区分	学年	人数	時期	内容	機関・団体名	支援・連携状況(機関、業団体等)	H28 新規 or継続
23	富山工業 高校	高校	現場 見学	2年生	40	9月23日	土木工事の施工方法、目的の理解 ・猪谷楡原道路猪谷橋下部工事 ・一般国道415号富山東バイパス東富山跨線橋上部工工事 ・松川第二排水区本丸地区本丸雨水幹線築造(第1工区)工事	(一社)富山県 建設業協会	富山県土木部富山土木センター 富山河川国道事務所 富山市上下水道局	継続
24	高岡工芸 高校	高校	現場 見学	2年生	40	9月30日	土木工事の施工方法、目的の理解 ・茅畑橋下部工その1工事 ・主要地方道小杉婦中線戸破高架橋上部工工事 ・準用河川守山川改修その2工事	(一社)富山県 建設業協会	富山県高岡土木センター 富山河川国道事務所 高岡市都市創造部	継続
25	○ 南砺福野 高校	高校	現場 見学	1年生	30	10月18日	土木工事の施工方法、目的の理解 ・小矢部川上流合流点処理事業 ・井栗谷大門線道路災害復旧法面工工事 ・市道館市野沢線東広橋下部工その3工事	(一社)富山県 建設業協会	富山河川国道事務所 富山県砺波土木センター 南砺市ふるさと整備部	継続
26	○ —	大学	その他	3年生	6	8月末 ~9月初	大学生を対象としたインターンシップ事業の実施(会員13社)	(一社)富山県 建設業協会		継続
27	○ 南砺福野 高校	高校	その他	2	17	10月1日	南砺福野高校 農業環境科生徒の保護者との懇談会	(一社)富山県 建設業協会	富山県土木部建設技術企画課	継続
28	桜井高校	高校	その他	2	19	12月19日	桜井高校 土木科生徒の保護者との懇談会	(一社)富山県 建設業協会	富山県土木部建設技術企画課	継続
29	富山工業 高校 桜井高校 高岡工芸 高校	高校	その他	3年生	—	7月~	測量設計の現場体験を将来に活かしてもらうためのインターンシップ受入れ	(一社)富山県 測量設計業協会		継続
30	富山工業 高校 桜井高校	高校	その他	1年生	18	7月11日	北陸建設界の担い手となる高校生やその父兄と協会の若手技術者に、県内の土木遺産や施設を見学することにより、先人たちの知恵や功績についての見識を深めてもらうインフラツーリズムを実施	(一社)富山県 測量設計業協会	関西電力北陸支社	継続
31	富山県立 大学	大学	その他	大学 2・3 年生、 院1年	—	—	・建設コンサルタントPR冊子の配布 ・上記を利用した建設コンサルタント業務の説明会ニーズ確認	建設コンサルタン ツ協会 北陸支部		継続
32	富山県立 大学	大学	その他	全学年	—	6月30日	・8月8日に建設コンサルタント協会北陸支部主催「業務・研究発表会」を行政機関からの後援を頂き開催。 ・審査員として、金沢大学高山教授、北陸地方整備局高島地方事業評価管理官、石川県(未定)にお願いし、学生講演2題も予定し、北陸支部管内の9大学11学部にも開催と聴講のご案内を昨年同様に行った。	建設コンサルタン ツ協会 北陸支部	北陸地方整備局	継続

平成28年度の活動一覧表

【建設系学生・生徒への取り組み】

資料2-1

平成28年12月現在

概要資料	学校名	対象区分	活動区分	学年	人数	時期	内容	機関・団体名	支援・連携状況(機関、業団体等)	H28 新規 or継続
33	富山県立大学	大学	その他	—	—	9月28日	在校生に建設コンサルタント業務をより分かりやすく解説したPR冊子などを常時見せていただくことを目的に、協会誌等の冊子の配置を依頼し、承諾をいただいた学校に対して実施	建設コンサルタント協会 北陸支部		新規
34	富山県立大学	大学	講師派遣	大学2・3年生、院1年	16	10月20日	大学からの依頼に基づき、「学科別 富山県での業界・業種について考える」として、建設コンサルタント業について学生16名に講義	建設コンサルタント協会 北陸支部		新規
35	富山県立大学	大学	講師派遣	大学3年生	40	11月4日	大学からの依頼に基づき、地域産業界について学ぶキャリア形成論として、環境工学科3年生40名に講義	建設コンサルタント協会 北陸支部		新規
参考	石川工業高等専門学校	高専	現場見学と講座	1年生	41	7月19日	現場見学(橋梁上部架設・ダム建設等について説明を行い理解をさせる)	利賀ダム工事事務所	利賀ダム工事事務所	継続
参考	石川工業高等専門学校	高専	現場見学と講座	3年生	41	10月4日	現場見学と座学(橋梁上部架設・ダム建設等について説明を行い理解をさせる)	利賀ダム工事事務所	利賀ダム工事事務所	継続
参考	金沢工業大学	大学	現場見学と講座	1年生	45	10月17日	現場見学と座学(橋梁上部架設・ダム建設等について説明を行い理解をさせる)	利賀ダム工事事務所	金沢河川国道事務所 富山河川国道事務所 利賀ダム工事事務所	継続
参考	○ 金沢大学	大学	現場見学	1年生	19	9月29日	日建連担い手部会員(石川・富山)共同で学生向けの現場見学会を開催。	日本建設業連合会		継続

建設界の担い手確保のために ～立山砂防事務所の取り組み～



講義 平成28年6月24日
於 富山県立大学

土木専攻の大学生に向けて、「国土交通省北陸地方整備局の社会資本整備の取り組み」と題し、様々な取り組みについて紹介しました。質疑応答では、砂防事業だけでなく社会資本整備全般に関する質問も寄せられ、漠然としていた建設界のイメージが具体的になったとの感想をいただきました。



講演 平成28年7月28日
於 第60回東日本高等学校
土木教育研究会

高等学校で土木を担当する先生方に向けて、「常願寺川の砂防事業」と題し、立山砂防事務所の取り組みを紹介しました。



立山砂防事務所



立山カルデラ砂防博物館

現地視察 平成28年7月5日
於 立山砂防事務所ほか

講義を受けた富山県立大学の学生を招き、砂防施設の現地視察が行いました。悪天候のため、当初予定していた立山カルデラ内への視察はできませんでしたが、立山カルデラ砂防博物館や本宮砂防堰堤を視察しました。今回紹介できたのは、砂防事業のごく一部だけでしたが、学生達は熱心に聞き入っていました。



本宮砂防堰堤



富山平野と砂防事業の関わりを楽しみながら理解していただくことを目的として、富山県内の高校生を対象に「SABO体験楽校」を開催しました。「SABO体験楽校」では、砂防現場の実体験や工事施工に携わる人々との交流を通し、学校の授業では得難い砂防事業を実際に体験しました。

時期：平成28年8月2日（火）～4日（木）【2泊3日】

場所：立山砂防事務所管内

参加者：富山県立桜井高等学校 5名

富山県立富山工業高等学校 5名 計10名

主催：立山砂防事務所、一般財団法人 富山・水・文化の財団



参加した学生からの感想(感想文から一部抜粋)

■実際に現場に行くことで、目と肌で土木工事の重要性、砂防の重要性について感じる事ができた■本当に色々な事が経験できた3日間は大変貴重な体験となりました■今回の体験で自分の視野が広がりました■土木・建設業に誇りを持ち、よりよい富山をつくっていく仲間に加わることを嬉しく頑張っていこうと思います■今後の就職先を決めるうえでこの体験を参考にして決めていこうと思います



参加された学生の皆さん大変お疲れ様でした。将来は建設業に携わる職業に就いて欲しいと思います。



11月8日(火)に『北陸地方整備局アウトドアセミナーin立山』を開催し、国家公務員の採用を希望されている16名のみなさんに、立山砂防の事業説明会、先輩職員との意見交換会、そして現場見学会に参加していただきました。

【アウトドアセミナーin立山】

日時：平成28年11月8日(火) 14:15～16:00

場所：立山砂防事務所（事務所会議室 及び 工事現場）

参加者：富山県立桜井高等学校	3年生	8名
富山県立高岡工芸高等学校	3年生	1名
石川工業高等専門学校	5年生	5名
金沢市立高等学校	3年生	1名
社会人（富山県立福野高等学校出身）	1名	計16名

- 内容：①立山砂防の事業説明会
 ②先輩職員との意見交換会
 ③現場見学会（瀬戸蔵砂防堰堤改築）



③現場説明会



当日の天候は小雨であり肌寒い中での現場見学会でしたが、参加者のみなさんは規模(スケール)の大きな砂防堰堤の工事現場に興味津々であり、現場代理人((株)丸新志鷹)からの説明に真剣に聞き入っている様子でした。参加者のみなさんから伝わる心地よい緊張感と、工事に対する現場代理人の熱意が感じられる良い現場見学会になりました。

みなさんのご活躍をお祈りしています！
また、ここ(立山砂防)で、会えるといいな！



ロッコちゃん



①事業説明会

まずは『砂防』という言葉を知って頂きます。



②意見交換会



(聞きやすそうな人だ)じゃあ、質問します！

何でも聞いて下さいね！

「Q(参加者). 学生生活で得た経験は役に立っていますか？今のあいだに・・・。」
「A(先輩職員). これから(入省してから)の経験は大きいから、今は心配いらないよ。」
※参加者からの質問に答える先輩職員は今年度(H28)入省の野原技官(20歳)です。

・富山河川国道事務所は、平成28年7月13日（水）砺波東バイパス工事箇所において、高岡工芸高校土木環境科3年生を対象とした、現場見学会を行いました。

本見学会は、高校生が実際の現場に触れ「道路建設に関する重要性ならびに建設業界の魅力」について理解促進を図ることにより、建設業界の担い手確保と育成を目的として実施しました。

開催概要

【高岡工芸高校現場見学】

日時：平成28年7月13日（水）9時30分～11時

場所：一般国道359号 砺波東バイパス事業箇所（富山県砺波市徳万地先）

対象：高岡工芸高校土木環境科土木工学コース3年生19名

内容：◇体験学習（コンクリートの品質測定、鉄筋組立体験、型枠組立体験）

◇若手技術者（卒業生）が直接建設業界の魅力を説明



型枠組立体験



鉄筋組立体験



高岡工芸高校卒業生OBによる説明

工事現場で作業体験
国道359号で高岡工芸高
校の3年生が13日、砺波市徳万
の国道359号砺波東バイパ
スの工事現場で作業を体験し
た。

建設業界の人手不足を受け、担い手の確保・育成を目的に国交省富山河川国道事務所が実施。土木環境科土木工学コースの19人が参加し、工事概要の説明を受けた。体験実習では作業員の指導で、バイパスの橋脚に使われる鉄筋や型枠を組み立てた。卒業生で今春から現場で働いている土屋日向さん（射水建設興業）と金森史弥さん（竹沢建設）



指導を受けながら鉄筋を組み立てる生徒（左）
は「建設業は地域のために欠かせない」と後輩に魅力を伝えた。
バイパスは全6・1キロのうち、高架橋「いかるぎの大橋」（仮称）を含む1・6キロが未開通で、2019年度に全線開通する予定。

北日本新聞（7月14日付）

桜井高校土木科生徒 土木施設を見る・知る・学ぶ

黒部河川事務所では、富山県立桜井高校土木科生徒を招いて現場見学会を2回開催した。

第1回は、10月6日、土木科2年生が下新川海岸の海岸保全施設である副離岸堤について学ぶため、副離岸堤の現場を見学した。

生徒たちは、副離岸堤の構造や設計方法、施工手順などについて職員等からの説明を熱心に聞き、また、副離岸堤に使用するブロック(48t)に触れ、大きさや形状を確認した。

第2回は、10月25日、土木科1年生が土木構造物の知識を深めるため、宇奈月ダムを見学した。

生徒たちは、宇奈月ダムの役割、構造などについて職員から説明を受けた後、ダム操作室や堤体内を見て回り、24時間体制で管理されていることや堤体内に設置されている各種計測機器などを目の当たりにし、ダム建設の大変さだけでなく、その後の管理の重要性について理解を深めた。

参加した生徒たちからお礼と感謝の言葉があり、見学会を通じて国交省の職場についても関心を示した。

- 実施日時 平成28年10月6日(木) 13時55分～14時45分
- 見学場所 入善町吉原地先
- 対象 富山県立桜井高等学校 土木科 2年生 40名
- 主催 国土交通省 北陸地方整備局 黒部河川事務所
- 共催 一般社団法人 富山県建設業協会 入善支部
- 説明 黒部河川事務所職員(桜井高校OB)
吉原副離岸堤(NO. 142)その1工事・吉原副離岸堤(NO. 144)工事(共に(株)飯作組)監理技術者
- 見学目的 副離岸堤の目的・構造・設計方法について学ぶ
使用機械、施工手順について知る

- 実施日時 平成28年10月25日(火) 13時55分～15時30分
- 見学場所 宇奈月ダム
- 対象 富山県立桜井高等学校 土木科 1年生 40名
- 主催 国土交通省 北陸地方整備局 黒部河川事務所
- 共催 一般社団法人 富山県建設業協会 入善支部
- 説明 黒部河川事務所職員(桜井高校OB)
- 見学目的 ダムの役割、構造について学ぶ
ダムの設備について知る



副離岸堤の施工手順について説明する監理技術者等



副離岸堤について説明する事務所職員



副離岸堤に使用するブロック(48t)の説明(監理技術者等)



平成28年10月7日(金)
建設工業新聞(日刊)



ダム天端で説明する事務所職員



排砂ゲートの役割・構造を説明する事務所職員



監査廊内で説明する事務所職員



平成28年10月27日(木)
建設工業新聞(日刊)

けんせつ小町と女子学生の対談

けんせつ小町と女子学生のガールズトーク ～女性の視点から見た現場環境の改善～

黒部河川事務所では、8月23日(火)に、女子高校生5名、事務所女性技術職員3名、建設業者の女性技術者1名により、建設業についての対談を行った。

対談は女性だけで、カフェ的な雰囲気の中でスタートし、けんせつ小町からは建設業に対するイメージや「土木構造物・工事現場」を見学したときの感想等について質問がなされ、学生の視点からいろんな発言が出された。また、学生からは建設業に就くきっかけ、学生時代のイメージと実際はどうか？等の質問があり、建設業の現状・将来、やりがいや問題点について、実体験を踏まえてけんせつ小町が答えていました。

学生らは最初は緊張した面持ちでしたが、談笑を交えながら対談が進むうちに場も和み、女性の立場からの貴重な意見が出され、有意義な意見交換となった。

対談の詳細は黒部河川事務所ホームページに掲載↓

<http://www.hrr.mlit.go.jp/kurobe/>

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会ホームページはこちら↓

<http://www.hrr.mlit.go.jp/Leaders/index.html>

参加者の紹介



大崎 美千枝
おおさき みちえ
長岡工業高等専門学校 環境都市工学科卒
勤務先:黒部河川事務所 工務課
勤続年数:16年



吉村 果恵 よしむら かえ
山梨大学 工学部 土木環境化学卒(桜井高校普通科卒)
勤務先:大高建設(株)
勤続年数:1年
経歴:現場技術員(浦山縦工その2工事など)



柏原 杏かしはら あんず
桜井高校 土木科
学年:1年
将来は測量士を目指す、土木科1年生で唯一の女性。



佃 真心 つくだ こころ
桜井高校 生活環境課
学年:1年、部活:部活:土木部
ミンシを使うのが得意。



横田 有咲 よこた ありさ
桜井高校 生活環境課
学年:1年部活:土木部
被服造形基礎の授業が好き。



上田 智代 うえだ ともよ
桜井高校 普通科
学年:1年、部活:土木部
美術が得意



寺田 彩乃 たらだ あやの
桜井高校 普通科
学年:1年、部活:土木部
カヌーづくりに興味を持ち土木部へ入部。



桑原 美里くわはら みさと
金沢大学 工学部 土木建設工学科卒
勤務先:黒部河川事務所 黒部川出張所
勤続年数:8年
経歴:千曲川の調査業務や工事の積算、立山砂防の施設設計や調査業務の積算などを担当し、昨年の4月から出張所係長として黒部川の工事監督や維持管理を担当。



白石 美緒 しらいし みお
岐阜大学 応用生物科学部 生産環境科学課程卒
勤務先:黒部河川事務所工務課
勤続年数:2年
経歴:神通川水系砂防事務所の施設設計を担当し、今年の4月から工務課係員として黒部川の災害予防工事の積算などを担当。

- 実施日時 平成28年8月23日(火)
13:45～15:15

- 場 所 黒部河川事務所 会議室

- 参加者 けんせつ小町 4名
女子高校生 5名

* けんせつ小町とは建設界で活躍する女性技術者・技能者の愛称



全員で記念撮影



現場事務所の見学



対談の様子

平成28年7月12日(火)に富山県立南砺福野高校の農業環境科の1年生30名、2年生7名が利賀ダムにおける生活再建道路の工事現場を訪れました。

この見学会は、建設界の担い手確保・育成を目的として、橋梁工事等の現場に触れて、建設界の魅力を学生に伝えるものです。

まず最初に見学する生徒の代表者から「土木についてしっかり学んで今後につなげたい」と挨拶をいただきました。

庄川橋梁の現場では、6月30日に閉合したアーチの状況を構台上と仮設エレベーターで下りて桁下から見学しました。

豆谷橋梁の現場では、補鋼桁の架設状況を見学し、同校を6年前に卒業した先輩女性技術者(受注業者)から現在取り組んでいる仕事内容や豆谷橋梁との関わり方、土木を志したきっかけなどが後輩に伝えられ、学生と意見交換を行いました。

また、座学として「橋の構造や種類」等について講義も行いました。

この現場見学会を通して建設界や利賀ダムについて、より関心を持っていただいたと思います。

見学後にお礼として南砺福野高校の農場で採れたリンゴジュースをいただきました。とても美味しかったです。ありがとうございました。



生徒代表者の挨拶



同校の先輩女性技術者から後輩へ
(豆谷橋梁にて)



座学の様子



南砺福野高校の農場で採れた
リンゴジュースをいただきました



記念撮影(庄川橋梁のアーチ部材前にて)

平成28年7月30日(土)に富山県立大学工学部環境工学科の1年生39名が、利賀ダムにおける生活再建道路の工事現場の見学を訪れました。

建設界の担い手確保・育成を目的として土木工学を学ぶ生徒・学生を対象とした現場見学会であり、工事現場に直接触れることで建設界の魅力や利賀ダムの役割について学んでもらうものです。

今回見学した現場は、ダムサイト付近と完成した利賀湖面橋、そして工事が最盛期にかかる庄川橋梁・豆谷橋梁の4箇所です。座学では利賀ダム建設事業の概要やダム事業における生活再建道路の必要性、橋梁の架設工法などについて説明を行いました。

学生からは「これだけ大きな事業を動かすためにたくさんの調整が行われ、時間をかけて作りあげられることが分かった」「将来絶対、建設界に行きたい！」という熱い意見が聞けたほか、「大学で学ぶことは仕事で生かされるのか？」といった自身の将来設計に関わる質問も出され、学生達のやる気に私たちも嬉しくなりました。

また是非、工事が進む現場を見に来て下さいね！



工事が進む豆谷橋梁



座学でダムや橋について勉強！



アーチ部が閉じた庄川橋梁で記念撮影



学生代表:石川くん

学生代表の石川くんから御礼の挨拶がありました！

平成28年9月6日(火)、「産((一社)日本埋立浚渫協会、富山県港湾建設協会)」「学(新潟工業高等学校)」「官」の3者が連携し、富山工業高校土木工学科1年生40名を対象に港湾工事の現場見学会を実施した。

まずは貨物量の増大・コンテナ船の大型化に対応するための既存岸壁の延伸工事についての事業概要の説明を伏木富山港湾事務所から、実際の工事の概要説明を受注者から説明した後、現場見学場所へ移動となった。

見学後の質疑応答では、生徒からの質問だけでなく、先生から「1年生は4人の女子生徒がいますが、この現場には女性作業員はいいますか？」との質問があり、受注者からは「この現場には女性作業員はいないが、今後は女性もぜひ現場で働いていただきたい」との回答があった。

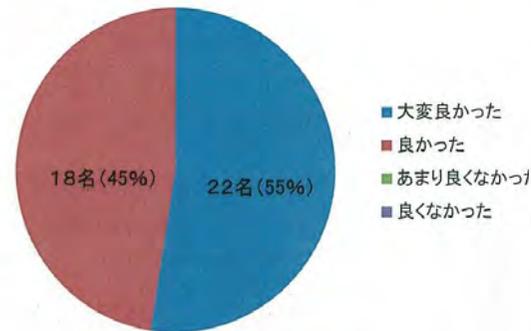
後日のアンケート結果からは、今後の進路についての参考になったとの回答を得ることができた。

現場見学会の状況

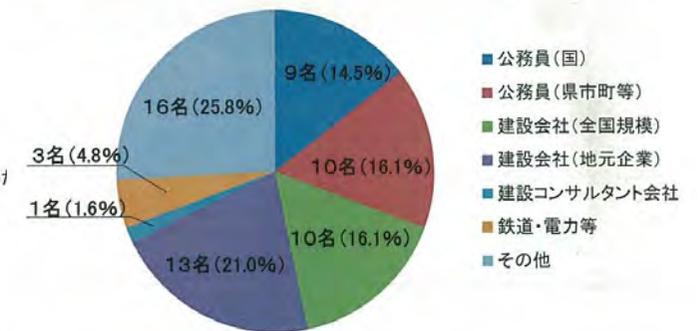


アンケート結果 (対象:男子36名、女子4名)

工事見学会は、参加して良かったと思いますか。



将来の進路は、どのように考えていますか (複数選択可)。



その他、感想、意見、要望等、“生の声”をお聞かせください。

- ・機械の数が多く工事にどれぐらいの費用が必要なのか気になった。
- ・夏冬の厳しい環境で作業をするのは大変だと思うが、社会のために働くことはすごいなと思った。
- ・少ない人数で地盤改良をするなんてすごいと思った。
- ・土木の仕事は皆にあって貰える大きな物を造れるのでかっこいい。
- ・今回の経験はこれからの進路を決める為の参考にしていきたい。
- ・もっと色々な土木工事をしている所を見たいと思った。
- ・人と人が繋がる仕事が良いと思った。自分も将来はそのような仕事に就きたい。

平成28年12月9日(金)、富山河川国道事務所、伏木富山港湾事務所で、富山工業高校土木工学科2年生41名を対象に座学「国土交通省の仕事」として、北陸地方整備局の河川・道路・砂防・港湾の事業について講習を実施した。

約90分の講義を行い、講義後の質疑応答では、「ドローンや無人機械の使用状況は?」「ケーソンの製作日数は?」「防ぎきれない災害があったときの対応は?」などの質問があった。

最後は生徒代表より「このような機会は貴重な経験です。将来土木の行く際は役立てていきたい」とのあいさつで終わりとなった。なおこの取組は来年度以降も予定されてる。

講習会の状況



けんせつ小町が建設界の魅力を発信！

- 富山河川国道事務所は、平成28年10月18日(火) 小矢部川・合又川合流点処理工事実施箇所において、富山県立南砺福野高等学校の生徒を招き、現場見学会・体験会を行いました。
- 当現場で主導的立場で進めている「けんせつ小町」が中心となって、事業や工事について説明するとともに、実際に現場で施工している工種を**体験**いただきました。
- アンケート結果から、体験を通じて土木の印象に対し変化がみられ、**好印象**をもっていただくことができました

見学会・体験会概要

- 対象：富山県立南砺福野高校 農業環境課 1・3年生 32名
- 事業説明、工事説明
- 体験内容
 - 「はかる」：堤防放線測量（光波測距器による測量，最新機器により体験）
 - 「組み立てる」：鉄筋組立（鉄筋結束体験，鉄筋ハツカによる結束）
 - 「検査する」：盛土の現場密度試験（砂置換，突き砂法による検査）
- 現場の若手から：入職理由や日頃の経験談などからエール



けんせつ小町 VS 高校生



現場密度試験の体験



鉄筋組立の体験



男の人がやる印象でした。最初はむずかしかったけど、だんだんやっていく中で、うまくできたとおもう。

▼体験会を通じての感想（一部抜粋）

女の人も(技術者)の方もたくさんいるなと感じました。地図(等)にのこるものだけあってやいがないのある土木事だと思えます。土木もいいなと思いました。

体験は本当にあたりにしかできないことだと思えます。並木の方に進まなければ見えないこと、知れないことだと思いたくせん学べると思っています。今のイメージは、男性だけで仕事というイメージでしたが女性もいることが知らなかったです。

今回は特に体験会がたのしかったです。そして土木の仕事に魅力を感じました。私もぜひ土木かんけいにつけたらいいかなと思いました。とても楽しい見学会・体験会ありがとうございました。

けんせつ小町（チーム合又川）による現場環境改善の取り組み

ごうまたがわ

- 富山河川国道事務所管内の小矢部川で事業実施中の「小矢部川・合又川合流点処理事業」では、女性技術者（けんせつ小町）が、設計・監督・施工の各部門・現場において主導的立場で進めています。
- H28.8に国土交通省から通達された「快適トイレ」の仕様に基づいたトイレをはじめ、現場アメニティの整備・現場環境改善に積極的に取り組んでいます。



チーム合又川

▼当現場において女性目線で整備した現場アメニティ（女性用）



整備局主催の「工事現場におけるアメニティ検討会」*の検討メンバーとして、当現場での事例紹介や、意見・要望を出すなど、よりよい現場環境となるよう進めています。



工事現場におけるアメニティ検討会2

(H28.10.13開催 新潟市市内) -整備局HP記者発表資料より抜粋-

- * 北陸管内受発注者の女性技術者で現場環境改善を検討
- 第1回 平成27年1月14日
- 第2回 平成28年10月13日

(一社)富山県建設業協会 平成28年度インターンシップ事業

期 日 平成28年8月29日(月) ※業界説明、受入企業との打合せ
 〃 8月30日(火)～9月2日(金) ※各企業での実習等(4コース実施)

参加者 大学生 6名(金沢大学、新潟大学、金沢工業大学、三重大学、名城大学)

受入企業 13社(土木7社、建築6社)

実施内容 初日(場所:富山県建設会館)

- 業界説明
 - テーマ 「建設業の魅力」
 - 講師 (一社)富山県建設業協会
青年委員会副委員長 安達正彦

○参加学生と受入企業との打合せ

- ・自己紹介
- ・インターンシップ実施日程及び内容に関する意見交換

2日目以降(場所:各受入企業)(1コース 2～4日間)

○受入企業による実習等

- ・企業概要説明、先輩社員との交流・意見交換、
現場管理や測量など技術者の仕事体験



建設系学科の高校生を持つ保護者との意見交換

○南砺福野高等学校（2年生 農業環境科）

日 時：平成28年10月1日（土） 14:30～15:00

出席者：協 会 会長、常任理事、技術者2名（高校卒業生）、事務局
学 校 保護者17名、担当教諭2名

概 要

①近藤会長挨拶

②協作成DVD「創る力～地域をささえる建設業～」視聴

③富山県の土木について（県土木部）

富山県土木部建設技術企画課 茂崎主幹

・県内の主な土木構造物の紹介、県の事業説明、社会資本整備や災害対応等の建設業の役割

④富山の建設企業に就職して（県内建設企業に就職した卒業生）

(株)藤井組 三浦係長

笹嶋工業(株) 北島係長

・就職したきっかけ、仕事内容、仕事のやりがいや魅力、休日の取得状況 等

⑤質疑内容

- ・若手技術者の確保・育成
- ・建設業における女性の採用・活躍
- ・現場環境の改善
- ・技術者と技能者の違い 等



○桜井高等学校（2年生 土木科） 平成28年12月19日（月）18:30～19:30（予定）

平成28年9月29日(木)、(一社)日本建設業連合会北陸支部は、金沢大学理工学域環境デザイン類(旧土木建設工学科)の学生を対象とし、石川県内の3現場(①金沢市次期廃棄物埋立地整備現場(金沢市)②H26-28金沢東環神谷内トンネル(2期線)工事(北陸地方整備局金沢河川国道事務所)③梯川改修事業天神地区改修事業(北陸地方整備局金沢河川国道事務所)の現場見学会を開催しました。今回の見学会は、**日建連による「担い手の確保・育成」活動**の一環として、**建設現場のやりがい・魅力の発信**、実際の作業環境を肌で感じて、**建設現場で働くイメージの形成**を目的として開催しました。

現場では、説明担当者が金沢大学OBの方だったところもあり、後輩に対して熱く語っていただきました。発注者・請負者の両側面でのそれぞれの仕事についての説明があり、学生からは、現場への理解が深まり、官民に限らず、進路として建設業に携わりたいと思ったという声が上がりました。

アンケートでは、今回見学した3か所で、**女性技術職員**を見かけなかったのが女性進出が進んでいるという事を実感できない、男性社会の中で女性が対等に扱ってもらえるかという疑問が残るという厳しい意見を参加した女子学生から寄せられたこともあり、次回からは、そういった点にも配慮して作業所選定をし、担い手確保につながる見学会となるべく、企画をしたいと思えます。

現場見学会

①次期廃棄物埋立地整備現場
(金沢市)



②H26-28金沢東環神谷内トンネル(2期線)工事
(北陸地方整備局金沢河川国道事務所)



③梯川改修事業天神地区改修事業(北陸地方整備局金沢河川国道事務所)



平成28年度の活動一覧表

【中学・小学校(保護者や教員等含む)等への取り組み】

資料2-2

平成28年12月現在

概要資料	学校名	対象区分	活動区分	学年	人数	時期	内容	機関・団体名	支援・連携状況(機関、業団体等)	H28 新規 or継続
1 ○	芝園小学校	小学校	その他	5、6年生	94	7月8日	立山砂防についての総合学習支援(僕らさぼう探検隊)	立山砂防事務所	(公社)富山法人会	継続
2 ○	陽南小学校	小学校	その他	6年生	16	7月14日	立山砂防についての総合学習支援(僕らさぼう探検隊)	立山砂防事務所	富山県富山土木センター 立山土木事務所	継続
3 ○	山室小学校	小学校	その他	5年生	84	9月6日	立山砂防についての総合学習支援(僕らさぼう探検隊)	立山砂防事務所		継続
4 ○	大庄小学校	小学校	講座	5年生	40	7月5日	砂防についての出前講座(講義)	立山砂防事務所		新規
5 ○	大庄小学校	小学校	その他	5年生	43	11月28日	砂防についての出前講座(模型実験)	立山砂防事務所		新規
6 ○	奥田北小学校	小学校	その他	1年生	110	11月1日	除雪の重要性などを知ってもらうことを目的とした除雪出動式・体験学習会 除雪出動式:機械操作見学 体験学習会:各除雪機械の働きについて説明、除雪グレーダ搭乗体験	富山河川国道事務所		継続
7 ○	利賀小学校 利賀中学校	小中学校	講座	小6 ~中3	15	7月14日	利賀ダムの概要、地質調査の目的を説明し、コア観察により地元の地質を理解してもらう。	利賀ダム 工事事務所		新規
8 ○	—	親子	現場 見学	—	19	8月26日	橋梁上部架設現場の見学(富山県建設技術協会の会員とその家族が参加)	利賀ダム 工事事務所	富山県建設技術協会	新規
9 ○	利賀小学校 利賀中学校	小中学校	現場 見学	—	65	10月22日	橋梁上部架設現場の見学、工事用道路のウォーキング(約2km)により、利賀ダム事業を理解してもらう。	利賀ダム 工事事務所	利賀地域児童生徒育成会 利賀ダム連絡協議会 利賀ダム建設口山地区対策協議会	新規
10 ○	射水市内 全小学校	小学校	現場 見学	5年生	195	6~7月	現場見学と港の役割について (6/28 作道小:46人、6/30 堀岡小:18人、7/8 放生津小:35人、7/13 新湊小:48人、7/15 片口小:48人)	伏木富山 港湾事務所	射水市港湾・観光課 富山県富山新港管理局	継続

平成28年度の活動一覧表

【中学・小学校(保護者や教員等含む)等への取り組み】

資料2-2

平成28年12月現在

概要資料	学校名	対象区分	活動区分	学年	人数	時期	内容	機関・団体名	支援・連携状況(機関、業団体等)	H28 新規 or継続
11	親子現場見学	小学校	現場見学	5年生	6	9月25日	現場見学と港の役割について	伏木富山 港湾事務所	射水市港湾・観光課	新規
12	○ 高岡市内 全小学校	小学校	現場 見学	5年生	169	7月	現場見学と港の役割について (7/6 牧野小:70人、7/11 太田小:14人、7/12 古府小:49人、7/13 伏木小:36人)	伏木富山 港湾事務所	高岡市みなと振興課	継続
13	鷹栖小学校	小学校	現場 見学と 講座	5年生	26	10月12日	現場見学と港の役割について	伏木富山 港湾事務所	富山県富山新港管理局	新規
14	親子 ふれあい 見学会	小中学校	現場 見学と 講座	小学校 4年生 以上	18	7月28日	橋をテーマに、紙で橋を作る「ペーパーブリッジ教室」や実際の橋を見学	富山県土木部		継続
15	県政バス	小中学校	現場 見学	小学校 4年生 以上	11	7月30日	県内の土木施設や施工現場などを見学	富山県土木部	富山河川国道事務所	継続
16	○ 一般公募	小学校	現場 見学	高学年 と保護者	24	8月5日	土木事業への理解 ・新富山県立近代美術館(仮称)新築工事 ・富山東バイパス東富山跨線橋上部工工事	(一社)富山県 建設業協会	富山県土木部営繕課 富山県土木部富山土木センター	継続
17	一般参加	親子	その他	—	174	8月6日	富山県立大学 ダヴィンチ祭への出展 ・ドローン飛行 ・建設機械ペーパークラフト・塗り絵 ・パネル展示	(一社)富山県 建設業協会	富山県土木部建設技術企画課	継続
18	東部小学校	小学校	講座	5・6年生	79	6月24日	測量の日の関連行事として、「地図教室」、「測量実習」を開催し、地図記号の意味や、測量機器に触れることにより、測量に理解と関心を持ってもらう	(一社)富山県 測量設計業協会	国土地理院北陸地方測量部	継続
19	教育委員会 等	小学校	その他	高学年	—	6月	平成16年から「社会貢献活動」の一環として出前講座を実施しており、北陸支部管内の小学校、中学校にチラシ等を配布し、学校からの依頼に基づいた内容の出前講座を実施する旨依頼	(一社)建設コン サルタンツ協会 北陸支部		継続
20	○ 大庄小学校	小学校	現場 見学	5年生	50	9月9日	斜面防災の大切さに関する教育向上を目的とした体験学習を実施	富山県 地質調査業協会	立山砂防事務所 富山県	継続

Vol. 14 H28.7.8 『僕ら「さぼう」探検隊！』を開催
砂防堰堤は凄い！ ～富山市立芝園小学校～



立山砂防事務所では、毎年6月から10月に県内の小学生を対象とし、常願寺川の災害・歴史や立山カルデラの砂防事業について、より理解を深めてもらう事を目的に、『僕ら「さぼう」探検隊！』と称し、「総合的な学習」の支援として体験学習会を開催しています。

土石流模型実験で砂防堰堤の役割を学ぶ！！

開催日 平成28年7月8日(金)
場 所 立山砂防事務所構内
参加者 富山市立芝園小学校
6年生:94名 引率者:12名 【計106名】
※今回は、富山法人会青年部会が行う「租税教育バス」の一環として開催されました。

立山の自然について学ぶ！

立山カルデラ砂防博物館の見学



必死にメモを記入



砂防堰堤ってすご〜い！

砂防堰堤の役割が分かったかな？



初めて砂防堰堤を知りました

工事専用軌道(トロッコ)について学ぶ！



クイズに夢中



お礼の言葉！

【児童の感想】
砂防堰堤の役割が良く分かりました。
砂防堰堤は不可欠な物だと思いました。

Vol. 15 H28.7.14 『僕ら「さぼう」探検隊！』を開催 土砂災害って何？ ～上市町立陽南小学校～

TATEYAMA SABO

今年度
第2弾！

立山砂防事務所では、毎年6月から10月に県内の小学生を対象とし、常願寺川の災害・歴史や立山カルデラの砂防事業について、より理解を深めてもらう事を目的に、『僕ら「さぼう」探検隊！』と称し、「総合的な学習」の支援として体験学習会を開催しています。

開催日 平成28年7月14日(木)
場 所 立山砂防事務所構内
参加者 上市町立陽南小学校
6年生:10名 5年生:6名 引率者6名 【計22名】
※今回は、立山土木センターが行う「砂防教室」の一環として開催されました。

土石流模型実験 砂防堰堤の役割を学ぶ！！

砂防堰堤の
役割が分かった
かな？



工事専用軌道（トロッコ）体験乗車



行って
来ま～す！！



本物の砂防堰堤を見学



土砂災害とは？

- 土石流
- 地すべり
- がけ崩れ
です。

みんな
覚えたかな？

最後に
お礼の言葉
を頂きました



Vol. 23 H28.9.6 『僕ら「さぼう」探検隊！』を開催 土砂災害って何？ ～富山市立山室小学校～

TATEYAMA SABO

今年度
第3弾！

立山砂防事務所では、毎年6月から10月に県内の小学生を対象とし、常願寺川の災害・歴史や立山カルデラの砂防事業について、より理解を深めてもらうことを目的に、『僕ら「さぼう」探検隊！』と称し、「総合的な学習」の支援として体験学習会を開催しています。

開催日：平成28年9月6日（火）14：00～14：50

場所：立山砂防事務所構内

参加者：富山市立山室小学校

5年生：84名 引率者：6名 【計90名】

土石流模型型実験で 砂防堰堤の役割を学習



堰堤が有る時と
無い時では、こんなに違う
んだ！



皆の住んでいる街が土砂に埋まる

立山カルデラ砂防博物館

ゲームに夢中！



土砂災害って
知ってるかな？



砂防堰堤はとても大切だと
思いました



作成者：調査課 北川

トロッコに実車！



砂防ってなに？ 大庄小学校で出前講座！



大庄小学校からの依頼を受け、5年生に向けて出前講座を実施しました。砂防や立山カルデラについて、興味を持ってもらうことを目的にした授業の内容は、急流河川であるといった常願寺川の特徴、土砂災害のメカニズム、砂防堰堤の役割などなど...

小学生ならではの鋭い感性で内容を捉えてくださり、職員もまた勉強になりました。興味津々な児童がとても頼もしく見えました。

開催日
平成28年7月5日(火)

場所
富山市立大庄小学校

参加者
5年生:40名
教員:4名



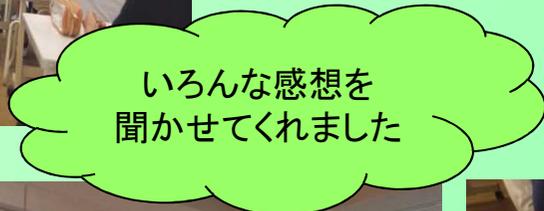
土石流って
こわ〜い！



みんなが住んでる
富山県って
どんな所かな？



意見のある
ひと〜！



いろんな感想を
聞かせてくれました

【児童の感想】
立山砂防が、富山平野を守ってくれていることを初めて知りました。これからも頑張ってください。



めもめも

『土砂災害の実験を体験』 大庄小学校で出前講座！



今夏の7月に続き、5年生に向けた出前講座を実施しました。今回は、常願寺川の特徴や土砂災害のメカニズム等々について勉強しましたが、今回は、より理解を深めるため土砂災害に関する実験を行いました。

児童達は、実際に土砂災害の模型や実験を体験し、いろいろな感想を聞かせてくれました。

開催日 : 平成28年11月28日 (月)
 場所 : 富山市立大庄小学校
 参加者 : 5年生 (43名)
 教員 (4名)

屋外での実験



土石流模型実験



地すべり模型実験



【児童の感想】

- 僕たちが住んでいる周りには、山が有るので、土砂災害が有るかも知れないと思いました。
- 砂防堰堤が土石流を止めたのを見て凄いなと思いました。
- 等々沢山の感想を頂きました。

がけ崩れ模型実験



講座終了後には、サプライズとして「地球星歌」を児童全員で歌ってくれました。



今回の出前講座は、「斜面防災対策技術協会富山支部」が主催となり、当事務所が支援した出前講座です。

本当にありがとうございました！とても感動しました！

7月14日(木)南砺市立利賀小・中学校にて、地質調査についての出前講座を行いました！

今回は利賀小学校の6年生と利賀中学校の全生徒にダムサイトのボーリングコアを見てもらいながら、ダム事業の地質調査について調査設計課職員が説明しました。

小・中学校では地質の授業があり、「似たような名前で覚えるのが苦手。」「岩石の出来方など、イメージしづらく難しい。」などの悩みをもった生徒もいました。しかし、いざコアの観察を始めると、利賀村の岩が出来た時代や種類、隙間に見える鉱物など、たくさんの方に興味を抱き、説明を聞いてもらいました。



利賀ダムの概要や調査の目的を紹介しました。

今回参加された先生方からも「地元の地下の状況を知ることが出来、生徒達にとって大変貴重な経験をさせていただいた。」と好評でした。

地質の科目は苦手意識を抱いてしまいがちですが、今回の授業を通して、少しでも地質への理解を深めてもらえたら嬉しいです。



岩が種類や出来た時代を説明しました。



コアの採取方法や見方を説明。



授業で習った岩などもちらほら。

平成28年8月26日（金）に富山県建設技術協会（県・市町・公社等の土木・建築の技術職員で構成する組織）の方々が利賀ダム建設の工事用道路である庄川橋梁の工事現場の見学に訪れました。

この見学会は、会員の技術力向上と合わせて、会員の家族の方々にも土木工事を身近に感じてもらうことを目的に企画されたものです。

小学生以上の家族参加型見学会であり、家族（児童や大人）にも分かりやすい様な説明を心がけ、技術職員の方々も満足してもらえる様に上部工架設の特徴が分かるような位置で見学していただきました。

また、参加された児童達の思い出となる様に、架設に用いているケーブルクレーンの操作を（オペレーターが手を添えての）体験してもらいました。



アーチ部が閉合した庄川橋梁で記念撮影



児童達はケーブルクレーンの操作を体験！



完成後は容易に立ち入ることができないアーチ基部からも見学

平成28年10月22日（土）に利賀ダム連絡協議会、利賀ダム建設口山地区対策協議会、利賀地域児童生徒育成会（以下、「地元団体」という。）の主催で、「利賀ダム見学イベント～工事現場とダム湖畔をもっと近くで～」が開催されました。

地元団体から、利賀地域の子供も大人も今年8月に事業継続となった利賀ダム建設事業の現場に立ち入って、工事の進捗状況を見て、ダム計画を学ぶことを目的としたイベントを開催したいとの希望がありましたので、利賀ダム工事事務所ではイベントの企画段階から参画し、南砺市、利賀ダム工事事務所安全対策協議会の皆さまと協力して、事前準備や当日の運営、工事現場の見学会のお手伝いをさせていただきました。

今回のイベントでは、利賀ダム建設の工事用道路である庄川橋梁、豆谷橋梁の工事現場の見学やダムサイト展望台からのダム建設予定地の見学、ダム湖畔道路となる利賀湖面橋と押谷トンネルを歩く約2kmのウォーキングを行いました。

（次項へ続く）



①-1庄川橋梁での記念撮影
(地元利賀村及び口山地区の皆さん・保護者の皆さん)



①-2庄川橋梁での記念撮影
(児童生徒の皆さん)

主催：利賀ダム連絡協議会/利賀ダム建設口山地区対策協議会/利賀地域児童生徒育成会
協力：南砺市/国土交通省利賀ダム工事事務所/利賀ダム工事事務所安全対策協議会

当日は、雨も心配されましたが幸いにも終始曇り空のままとなり、児童生徒14名の他、地元団体の方々など総勢65名の地元住民の方々がこのイベントに参加され、参加した皆さんからは、「手作りのライトアップが幻想的で感動した。」「工事現場をこんなに近くで見ることができてとても良かった。」といった感想をお聞きすることができました。

利賀ダム工事事務所職員は、当日17名が参加してトンネル内のライトアップ設営の他、ウォーキングルートの通行の安全確保等を行いました。参加した職員は皆、地元の皆さんの思い出づくりに関わったことにうれしく思っています。これからも地元地域のイベントに積極的に関わることで、利賀ダム建設事業に理解と親しみを感じていただきたいと思います。



②ダムサイト展望台から建設予定地を説明



③豆谷橋梁の工事を説明



④橋梁のボルト締めを体験
うまく締まったかな～



⑤さあウォーキング開始！
湖面橋を渡りま～す



⑦さあ、これからトンネルを歩くよ！

⑥湖面橋を渡り終えると背後には豆谷橋梁の姿が見えます(写真左)



⑨ゴール！
お疲れ様でした！

⑧手作りのライトアップゾーンはとても幻想的な雰囲気(写真左)

普段の暮らしにも密接な関わりを持つ伏木富山港について学び、興味や関心、愛着を持ってもらえる機会を提供することを目的として、射水市内小学校及び高岡市内小学校の5年生を対象に「みなとの見学会」を実施した。

合計参加者数は、射水市内小学校5校195名、引率者21名、高岡市内小学校4校169名、引率者25名となった。

【実施内容】

射水市内小学校

新湊大橋（あいの風プロムナード）を徒歩で見学→富山県営渡船（越の渦フェリー）乗船見学→国際物流ターミナル見学

6/28	射水市立 作道小学校	5年生	46名	引率者他	4名
6/30	射水市立 堀岡小学校	5年生	18名	引率者他	3名
7/8	射水市立 放生津小学校	5年生	35名	引率者他	5名
7/13	射水市立 新湊小学校	5年生	48名	引率者他	5名
7/15	射水市立 片口小学校	5年生	48名	引率者他	4名
合計			195名	21名	

高岡市内小学校

港湾業務艇「なごかぜ」船上から伏木富山港（伏木地区）を見学→新湊大橋（あいの風プロムナード）を徒歩で見学

7/6	高岡市立 牧野小学校	5年生	70名	引率者他	10名
7/11	高岡市立 太田小学校	5年生	14名	引率者他	2名
7/12	高岡市立 古府小学校	5年生	49名	引率者他	8名
7/13	高岡市立 伏木小学校	5年生	36名	引率者他	5名
合計			169名	25名	



みなとを見学(港湾業務艇なごかぜ船上から)



国際物流ターミナル見学



新湊大橋(あいの風プロムナード)見学



富山県営渡船(越の渦フェリー)の説明を聞く児童



みなとを見学(港湾業務艇なごかぜ船内)



国際物流ターミナル見学



新湊大橋前で記念撮影



富山県営渡船(越の渦フェリー)帽子を振り別れの挨拶

平成28年度親子現場見学会 実施報告

期 日 平成28年 8 月 5 日 (金)
参加者 小学生等 13名 (9歳～12歳)
保護者 11名
見学等 新富山県立近代美術館 (仮称) 新築工事
説明：富山県土木部営繕課、清水建設
富山東バイパス東富山跨線橋上部工工事
説明：富山土木センター、川田建設
富岩運河水閘施設見学～富岩水上ライン乗船 (運河の歴史・役割等説明)



子供防災教室(立山カルデラ砂防勉強会)の開催

(一社)斜面防災対策技術協会富山支部では、常願寺川流域の小学生が、自分たちが生活している土地や、人の安全のために行われているカルデラ内での防災事業の砂防を勉強し、常願寺川の自然や砂防・治水などについて学び、斜面防災の大切さに関する教育の向上を目的として、平成 25 年度から、斜面防災の重要性を流域の小学生を対象に、直接カルデラ内での体験学習の場を企画しております。

今年度は下記の要領で開催しました。

- 1 実施日:平成28年9月9日(金)天気:晴れ
- 2 場 所:立山カルデラ(富山市、立山町)現地
- 3 参加者:富山市立大庄小学校 5 年生
(生徒43名、教員3名、案内4名、合計50名)
- 4 主 催:(一社)斜面防災対策技術協会富山支部、富山県地質調査業協会
- 5 協 力:富山県、国土交通省北陸地方整備局立山砂防事務所
- 6 行 程:

大庄小学校(8時30分発)⇒立山カルデラ砂防博物館⇒立山砂防事務所出発(トロッコ)⇒水谷平(昼食)⇒白岩砂防堰堤(国指定重要文化財)⇒六九谷展望台⇒立山温泉跡地⇒跡津川断層⇒有峰記念館⇒大庄小学校(16時30分着)

[立山カルデラとは]

安政5年(1858)の地震により、常願寺川上流の立山カルデラ内で4.1億立方メートルの大崩壊が発生し、その土砂が土石流となり下流の富山平野で140名の死者を出しました。

未だその半分の2億立方メートルがカルデラ内に堆積しており、今日の荒廃の原因になっています。常願寺川では大雨が降るたびに、富山平野に土砂を流す暴れ川となり、砂防事業は明治39年(1905)富山県で着手し、大正15年(1926)国の直轄事業に移され、現在も、富山平野を土砂災害から護るため、劣悪(不便、危険)な環境の中で、多くの人たちが働いています。

富山県では、「立山・黒部」の世界文化遺産登録を目指し、カルデラ内の立山砂防を中心に国際的な評価の検証・確立等に取り組んでおられます。



白岩砂防堰堤



六九谷展望台



Press Release

平成 28 年 11 月 29 日

【担当】

富山労働局職業安定部 職業安定課

課長 平井 昭彦

課長補佐 行沢 隆信

地方職業指導官 加藤 弘之

電話 076(432)2782

報道関係者 各位

平成29年3月新規高等学校卒業予定者の求人・求職・内定状況について
～内定率は88.8%と前年同期比0.2ポイント下回った～

富山労働局では、平成28年10月末現在の平成29年3月高等学校卒業予定者の求人・求職状況を取りまとめました。その概要は次のとおりです。

- 1 求人数は4,443人で、前年同期に比べ7.0%増加した。
- 2 就職希望者数は1,994人で、前年同期に比べ0.2%減少した。
- 3 就職内定者数は1,770人で、前年同期に比べ0.4%減少した。
- 4 求人倍率は2.23倍で、前年同期に比べ0.15ポイント上回った。
- 5 内定率は88.8%で、前年同期を0.2ポイント下回った。

(各月末累計)

	求人数		就職希望者数		就職内定者数	
	(人)	前年同月比	(人)	前年同月比	(人)	前年同月比
28年10月	4,443	7.0%	1,994	▲0.2%	1,770	▲0.4%
27年10月	4,151	19.4%	1,997	0.9%	1,778	0.8%

	求人倍率		内定率	
	(倍)	前年同月比	(%)	前年同月比
28年10月	2.23	0.15ポ	88.8	▲0.2ポ
27年10月	2.08	0.32ポ	89.0	▲0.1ポ

(参考) 就職希望者数は学校又は公共職業安定所の紹介による就職を希望している生徒の数です。

新規高等学校卒業者の求人・就職状況

富山労働局職業安定課

		7月末	8月末	9月末	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末
平成18年度	求人数(人)	2,699	2,982	3,092	3,183	3,235	3,261	3,318	3,334	3,339
	就職希望者数(人)	1,992	1,965	1,874	1,881	1,889	1,908	1,913	1,893	1,867
	就職内定者数(人)	0	0	1,116	1,553	1,650	1,753	1,799	1,845	1,848
	未内定者数(人)	1,992	1,965	758	328	239	155	114	48	19
	求人倍率(倍)	1.35	1.52	1.65	1.69	1.71	1.71	1.73	1.76	1.79
	就職内定率(%)	0.0	0.0	59.6	82.6	87.3	91.9	94.0	97.5	99.0
平成19年度	求人数(人)	2,925	3,226	3,332	3,434	3,451	3,465	3,485	3,494	3,508
	就職希望者数(人)	1,902	1,897	1,808	1,809	1,799	1,789	1,783	1,773	1,771
	就職内定者数(人)	0	0	1,131	1,491	1,594	1,664	1,696	1,736	1,749
	未内定者数(人)	1,902	1,897	677	318	205	125	87	37	22
	求人倍率(倍)	1.54	1.70	1.84	1.90	1.92	1.94	1.95	1.97	1.98
	就職内定率(%)	0.0	0.0	62.6	82.4	88.6	93.0	95.1	97.9	98.8
平成20年度	求人数(人)	2,679	2,822	2,900	2,974	2,985	3,004	3,017	3,027	3,031
	就職希望者数(人)	2,022	2,004	1,865	1,848	1,840	1,843	1,838	1,821	1,812
	就職内定者数(人)	0	0	1,224	1,520	1,625	1,673	1,719	1,757	1,779
	未内定者数(人)	2,022	2,004	641	328	215	170	119	64	33
	求人倍率(倍)	1.32	1.41	1.55	1.61	1.62	1.63	1.64	1.66	1.67
	就職内定率(%)	0.0	0.0	65.6	82.3	88.3	90.8	93.5	96.5	98.2
平成21年度	求人数(人)	1,345	1,510	1,607	1,693	1,780	1,843	1,936	1,958	1,965
	就職希望者数(人)	1,849	1,797	1,643	1,618	1,607	1,599	1,576	1,553	1,546
	就職内定者数(人)	0	0	814	1,183	1,322	1,397	1,441	1,491	1,521
	未内定者数(人)	1,849	1,797	829	435	285	202	135	62	25
	求人倍率(倍)	0.73	0.84	0.98	1.05	1.11	1.15	1.23	1.26	1.27
	就職内定率(%)	0.0	0.0	49.5	73.1	82.3	87.4	91.4	96.0	98.4
平成22年度	求人数(人)	1,334	1,572	1,693	1,839	1,940	2,012	2,119	2,157	2,169
	就職希望者数(人)	1,836	1,808	1,641	1,635	1,645	1,642	1,644	1,645	1,641
	就職内定者数(人)	0	0	979	1,290	1,430	1,495	1,567	1,597	1,619
	未内定者数(人)	1,836	1,808	662	345	215	147	77	48	22
	求人倍率(倍)	0.73	0.87	1.03	1.12	1.18	1.23	1.29	1.31	1.32
	就職内定率(%)	0.0	0.0	59.7	78.9	86.9	91.0	95.3	97.1	98.7
平成23年度	求人数(人)	1,705	1,958	2,096	2,199	2,259	2,308	2,382	2,417	2,420
	就職希望者数(人)	1,893	1,856	1,733	1,731	1,728	1,724	1,712	1,717	1,700
	就職内定者数(人)	0	0	1,078	1,373	1,507	1,594	1,624	1,670	1,687
	未内定者数(人)	1,893	1,856	655	358	221	130	88	47	13
	求人倍率(倍)	0.90	1.05	1.21	1.27	1.31	1.34	1.39	1.41	1.42
	就職内定率(%)	0.0	0.0	62.2	79.3	87.2	92.5	94.9	97.3	99.2
平成24年度	求人数(人)	2,180	2,412	2,519	2,591	2,642	2,681	2,701	2,733	2,740
	就職希望者数(人)	2,071	2,026	1,890	1,864	1,862	1,859	1,850	1,844	1,836
	就職内定者数(人)	0	0	1,204	1,525	1,640	1,709	1,752	1,799	1,827
	未内定者数(人)	2,071	2,026	686	339	222	150	98	45	9
	求人倍率(倍)	1.05	1.19	1.33	1.39	1.42	1.44	1.46	1.48	1.49
	就職内定率(%)	0.0	0.0	63.7	81.8	88.1	91.9	94.7	97.6	99.5
平成25年度	求人数(人)	2,296	2,500	2,687	2,827	2,888	2,928	2,969	3,004	3,008
	就職希望者数(人)	2,097	2,084	1,977	1,944	1,942	1,932	1,917	1,931	1,907
	就職内定者数(人)	0	0	1,313	1,641	1,742	1,818	1,846	1,876	1,897
	未内定者数(人)	2,097	2,084	664	303	200	114	71	55	10
	求人倍率(倍)	1.09	1.20	1.36	1.45	1.49	1.52	1.55	1.56	1.58
	就職内定率(%)	0.0	0.0	66.4	84.4	89.7	94.1	96.3	97.2	99.5
平成26年度	求人数(人)	3,034	3,213	3,351	3,478	3,516	3,556	3,588	3,603	3,605
	就職希望者数(人)	2,115	2,089	1,972	1,980	2,001	2,008	2,005	2,001	1,995
	就職内定者数(人)	0	0	1,410	1,764	1,859	1,918	1,939	1,963	1,993
	未内定者数(人)	2,115	2,089	562	216	142	90	66	38	2
	求人倍率(倍)	1.43	1.54	1.70	1.76	1.76	1.77	1.79	1.80	1.81
	就職内定率(%)	0.0	0.0	71.5	89.1	92.9	95.5	96.7	98.1	99.9
平成27年度	求人数(人)	3,680	3,891	4,059	4,151	4,184	4,220	4,253	4,268	4,275
	就職希望者数(人)	2,121	2,116	2,007	1,997	2,015	2,002	2,001	2,002	2,008
	就職内定者数(人)	0	0	1,472	1,778	1,875	1,910	1,930	1,964	2,006
	未内定者数(人)	2,121	2,116	535	219	140	92	71	38	2
	求人倍率(倍)	1.74	1.84	2.02	2.08	2.08	2.11	2.13	2.13	2.13
	就職内定率(%)	0.0	0.0	73.3	89.0	93.1	95.4	96.5	98.1	99.9
平成28年度	求人数(人)	4,084	4,263	4,387	4,443					
	就職希望者数(人)	2,051	2,041	1,997	1,994					
	就職内定者数(人)	0	0	1,559	1,770					
	未内定者数(人)	2,051	2,041	438	224					
	求人倍率(倍)	1.99	2.09	2.20	2.23					
	就職内定率(%)	0.0	0.0	78.1	88.8					

平成 28 年 11 月 29 日

【担当】

富山労働局職業安定部職業安定課

課長 平井昭彦

課長補佐 行沢隆信

地方職業指導官 加藤弘之

電話 076(432)2782

報道関係者 各位

平成29年3月新規大学等卒業予定者の求職・内定状況について ～内定率は67.5%と前年同期比0.3ポイント上回った～

富山労働局では、平成28年10月末現在の平成29年3月大学等卒業予定者の求職・内定状況を取りまとめました。その概要は次のとおりです。

- 1 就職希望者数は3,282人で、前年同期に比べ0.2%増加した。
- 2 就職内定者数は2,215人で、前年同期に比べ0.6%増加した。
- 3 内定率は67.5%で、前年同期を0.3ポイント上回った。

(各月の累計)

	就職希望者数		就職内定者数		内定率	
	(人)	前年同月比	(人)	前年同月比	(%)	前年同月比
28年10月	3,282	0.2%	2,215	0.6%	67.5	0.3ポ
27年10月	3,276	▲2.9%	2,202	▲7.3%	67.2	▲3.2ポ

(参考)

この調査は、富山労働局管内の大学、短大、高専、専修学校、能力開発校26校が、10月末日時点で把握している内定状況等を取りまとめたものです。

新規大学等卒業者の就職状況

富山労働局職業安定部職業安定課

		10月1日	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末
平成18年度	就職希望者数(人)	3,675	3,679	3,669	3,679	3,643	3,565	3,523
	就職内定者数(人)	1,664	2,249	2,608	2,806	3,022	3,183	3,349
	就職未内定者数(人)	2,011	1,430	1,061	873	621	382	174
	就職内定率(%)	45.3	61.1	71.1	76.3	83.0	89.3	95.1
平成19年度	就職希望者数(人)	3,350	3,375	3,373	3,367	3,348	3,282	3,299
	就職内定者数(人)	1,811	2,165	2,427	2,645	2,859	3,005	3,146
	就職未内定者数(人)	1,539	1,210	946	722	489	277	153
	就職内定率(%)	54.1	64.1	72.0	78.6	85.4	91.6	95.4
平成20年度	就職希望者数(人)	3,315	3,324	3,313	3,288	3,246	3,216	3,158
	就職内定者数(人)	1,847	2,160	2,453	2,626	2,792	2,914	3,002
	就職未内定者数(人)	1,468	1,164	860	662	454	302	156
	就職内定率(%)	55.7	65.0	74.0	79.9	86.0	90.6	95.1
平成21年度	就職希望者数(人)	3,031	2,993	2,961	2,951	2,922	2,884	2,825
	就職内定者数(人)	1,489	1,859	2,054	2,200	2,345	2,523	2,674
	就職未内定者数(人)	1,542	1,134	907	751	577	361	151
	就職内定率(%)	49.1	62.1	69.4	74.6	80.3	87.5	94.7
平成22年度	就職希望者数(人)	3,107	3,124	3,105	3,084	3,047	2,987	2,952
	就職内定者数(人)	1,465	1,825	2,160	2,333	2,506	2,659	2,805
	就職未内定者数(人)	1,642	1,299	945	751	541	328	147
	就職内定率(%)	47.2	58.4	69.6	75.6	82.2	89.0	95.0
平成23年度	就職希望者数(人)	3,293	3,270	3,259	3,228	3,185	3,103	3,067
	就職内定者数(人)	1,607	2,024	2,300	2,470	2,666	2,784	2,916
	就職未内定者数(人)	1,686	1,246	959	758	519	319	151
	就職内定率(%)	48.8	61.9	70.6	76.5	83.7	89.7	95.1
平成24年度	就職希望者数(人)	3,399	3,364	3,340	3,314	3,278	3,202	3,178
	就職内定者数(人)	1,776	2,156	2,438	2,609	2,797	2,907	3,028
	就職未内定者数(人)	1,623	1,208	902	705	481	295	150
	就職内定率(%)	52.3	64.1	73.0	78.7	85.3	90.8	95.3
平成25年度	就職希望者数(人)	3,363	3,332	3,289	3,271	3,238	3,188	3,154
	就職内定者数(人)	1,806	2,201	2,505	2,663	2,824	2,935	3,058
	就職未内定者数(人)	1,557	1,131	784	608	414	253	96
	就職内定率(%)	53.7	66.1	76.2	81.4	87.2	92.1	97.0
平成26年度	就職希望者数(人)	3,403	3,374	3,363	3,358	3,319	3,269	3,257
	就職内定者数(人)	1,959	2,375	2,688	2,848	2,952	3,047	3,167
	就職未内定者数(人)	1,444	999	675	510	367	222	90
	就職内定率(%)	57.6	70.4	79.9	84.8	88.9	93.2	97.2
平成27年度	就職希望者数(人)	3,254	3,276	3,261	3,247	3,230	3,200	3,148
	就職内定者数(人)	1,517	2,202	2,559	2,771	2,922	2,998	3,091
	就職未内定者数(人)	1,737	1,074	702	476	308	202	57
	就職内定率(%)	46.6	67.2	78.5	85.3	90.5	93.7	98.2
平成28年度	就職希望者数(人)	3,317	3,282					
	就職内定者数(人)	1,805	2,215					
	就職未内定者数(人)	1,512	1,067					
	就職内定率(%)	54.4	67.5					

取り組みませんか？

「魅力ある職場づくり」で生産性向上と人材確保

思うように従業員の採用ができない、経験を積ませたいが従業員がなかなか職場に定着しないなど、従業員の雇用管理でお悩みではありませんか？

従業員にとって働きやすく働きがいのある「魅力ある職場」では、従業員の働く意欲、業績、生産性向上や人材確保に効果があることが調査で明らかになっています。

「魅力ある職場づくり」を進めるためには、評価や処遇、人材の育成、ワーク・ライフ・バランスの実現できる環境整備など、従業員の視点に立った雇用管理を実施することが効果的です。

従業員の視点に立った雇用管理改善を行って、「魅力ある職場づくり」に取り組みませんか？

従業員の意欲・業績アップ・人材確保にお悩みの事業主の皆さま、
従業員の視点に立った「魅力ある職場づくり」が有効です！

「魅力ある職場」では、以下の効果があります

- ①従業員の意欲の向上 ②業績・生産性の向上 ③人材確保

「魅力ある職場づくり」の取り組みのポイントは2つ

1. 「魅力ある職場」は、従業員にとって働きやすく働きがいのある職場です。
「顧客満足度」だけでなく「従業員満足度」も重視しましょう。
2. 「魅力ある職場づくり」は、
従業員の目線で、継続した取り組みを行うことが重要です。

2・3ページの調査結果をご参照ください

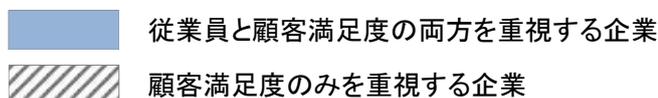
出典：厚生労働省「今後の雇用政策の実施に向けた現状分析に関する調査研究事業」（平成27年）
<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000127983.html>



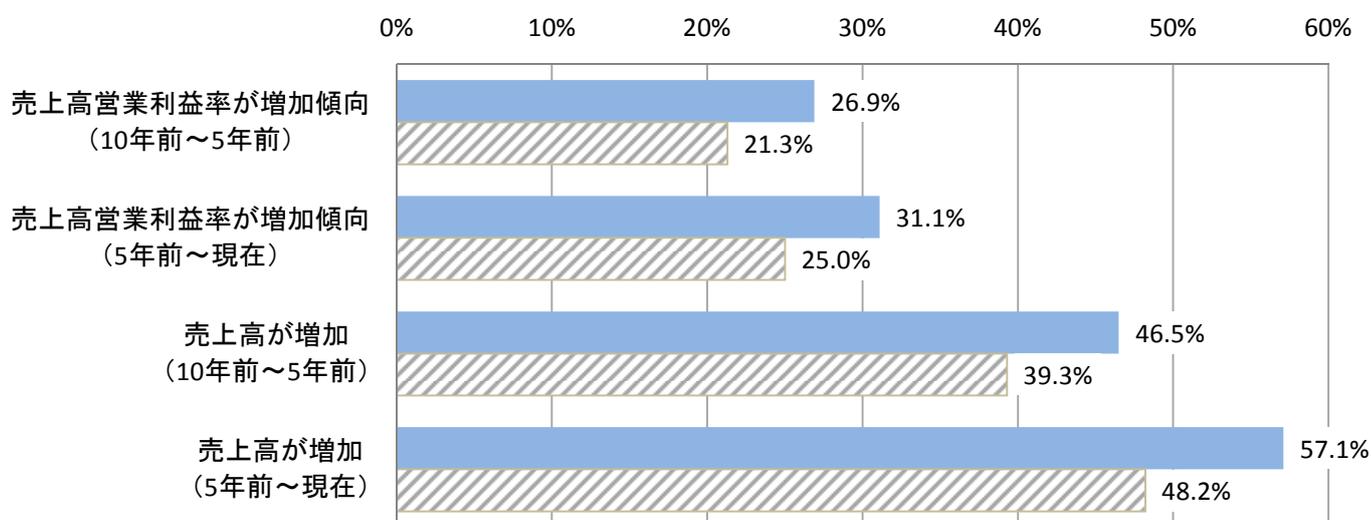
「従業員と顧客満足度の両方を重視する企業」は、「顧客満足度のみを重視する企業」と比べ、業績が向上し、人材確保ができています。

「従業員と顧客満足度の両方を重視する」という経営方針を持つ企業は、「顧客満足度のみを重視する」という企業と比べ、**売上高営業利益率、売上高ともに「増加傾向にある」とする割合が高くなっています。**

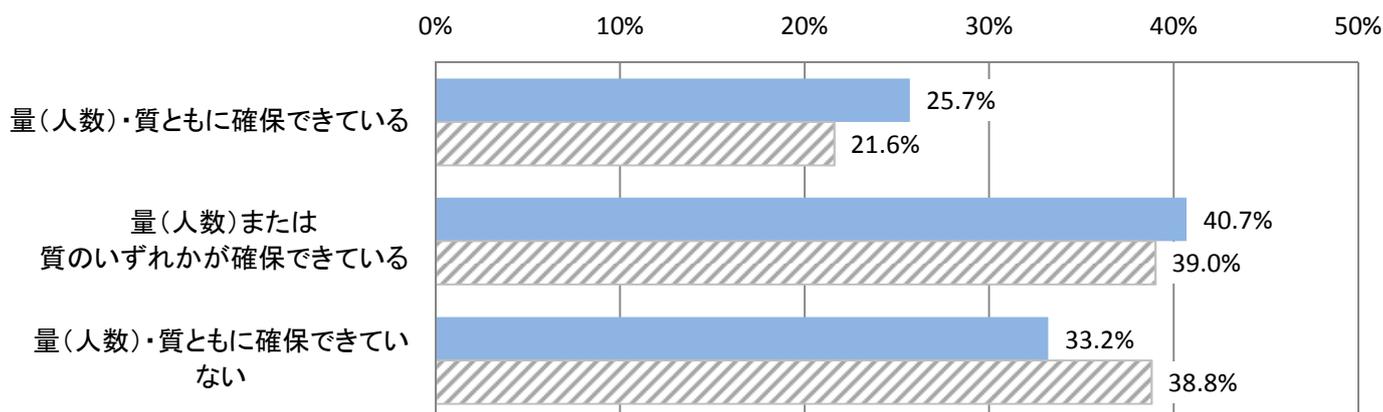
また、人材確保状況（正社員）についても、「**量（人数）・質ともに確保できている**」とする割合が高くなっています。



業績の状況



過去5年間の正社員の人材確保の状況

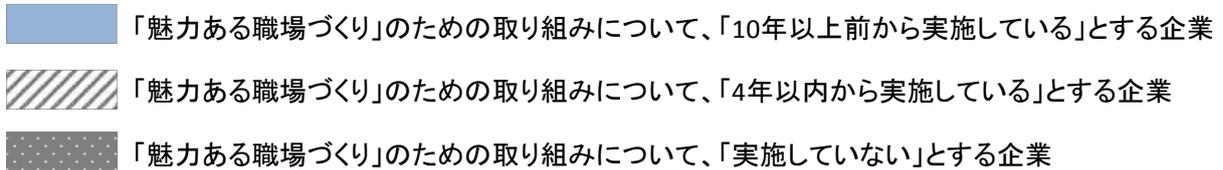


「魅力ある職場づくり」のための取り組みについて、 取り組みの実施期間が長い企業ほど 業績が向上し、人材確保ができています。

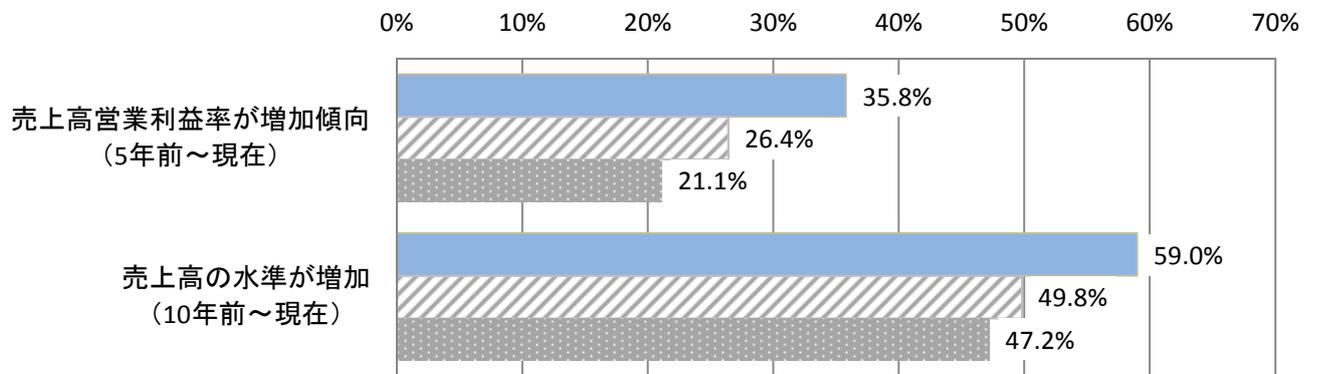


「魅力ある職場づくり」のための取り組みの実施期間が長い企業ほど、**売上高営業利益率および売上高が「増加傾向」とする割合が高くなっています。**

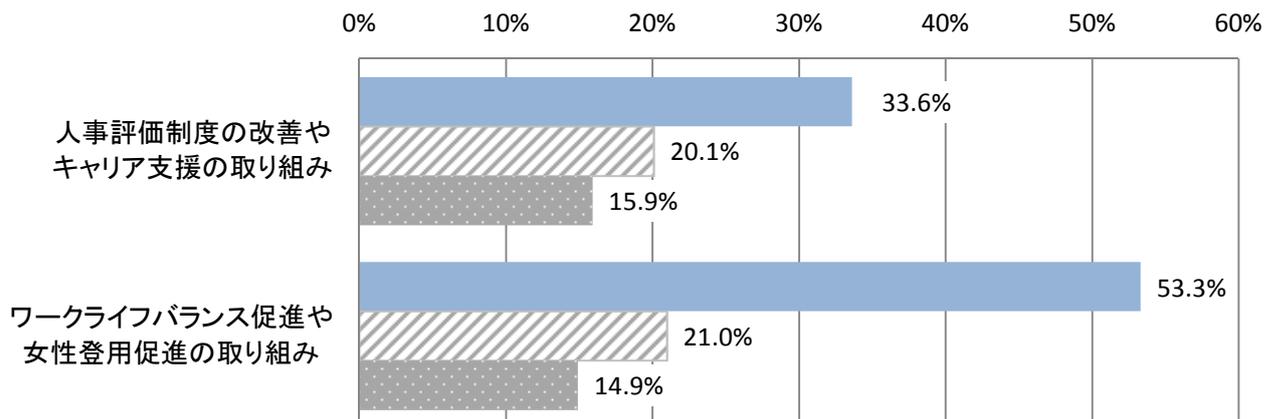
また、正社員の人材確保についても、「量（人数）・質ともにできています」とする割合が高くなっています。



「人事評価制度の改善」や「キャリア支援」に取り組む企業の業績の状況



量(人数)・質ともに人材が確保できている企業が行っている取り組み





では、「魅力ある職場づくり」で何をすればいいのでしょうか??

答えは・・・

“ 従業員の視点に立った取り組み ” です

「魅力ある職場づくり」への
課題

従業員の視点

従業員の視点に立った
「魅力ある職場づくり」
の取り組み例

賃金等処遇
に関する課題

- ・働き続けても収入が増えない
- ・成果を上げても賃金が上がらない

- ★能力評価制度の導入
- ★スキルや成果に応じた報酬制度の制定
- ★賃金テーブルの整備
- ★人事評価シートによる客観性の高い人事考課制度
- ★退職金制度の導入

労働時間・休暇等
に関する課題

- ・業務が忙しく年休が取れない
- ・長時間勤務が解消できない

- ・計画的な年休制度の策定
- ・業務見直しによる労働時間の削減

多様な働き方(制
度)に関する課題

- ・家庭の事情があり、フルタイムで働き続けることが難しくなった。

- ★短時間正社員制度の導入
- ・勤務体系の多様化やシフト制の工夫
- ・テレワークの導入

長期就業で得られ
るキャリアビジョ
ンが不明確

- ・若手とベテランが同じ業務・職責で働いていて、ステップアップが見込めない。

- ★キャリアパスの明示や能力評価制度の導入
- ★スキル向上のための各種研修の実施

成長機会
に関する課題

- ・自分の成長が感じられない。
- ・新卒者育成の余裕がない。

- ★キャリアパスに応じた教育研修制度の整備
- ★メンター制度の導入

福利厚生
に関する課題

- ・福利厚生制度がない

- ★人間ドック・健康診断等の導入
- ・休暇制度の導入（リフレッシュ休暇、誕生日休暇等）
- ・財形制度の導入

上記の『従業員の視点に立った「魅力ある職場づくり」の取り組み例』の一部（★の項目）について、**職場定着支援助成金**を活用できる可能性があります！ 詳しくは次のページで…



職場定着支援助成金を活用しませんか

- 厚生労働省では、雇用管理制度（評価・処遇制度、研修制度、健康づくり制度、メンター制度、短時間正社員制度(保育事業主のみ)）の導入等を通じて、離職率低下に取り組む事業主への職場定着支援助成金による支援を実施しています。
（平成27年度は延べ**5,485件**の助成金の申請がありました）
- 利用者からは「従業員が、（健康づくりの）制度があることにより、安心して働くことができる」「就業規則の整備等により、労使間の信頼関係が構築できた」^{（※）}といった声をいただいています。（※平成27年度 厚生労働省調査より）

職場定着支援助成金を活用した事業主さまからの声

評価・処遇制度の導入効果

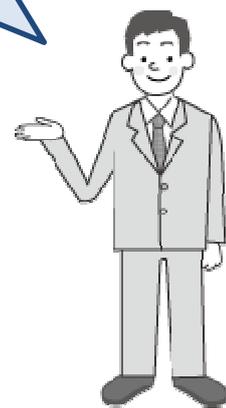
- ・評価者となることで、管理者としての意識が高まった。
- ・従業員の意識変化および意欲の向上につながった。
- ・就業規則の整備等により、労使間の信頼関係が構築できた。

研修制度の導入効果

- ・事業所の人材育成への注力を感じた従業員のモチベーション向上につながった。
- ・従業員のスキルアップにつながった。
- ・事業所における研修の必要性を再認識した。
- ・新卒の定着率が向上した。
- ・人材育成を行っていることをアピールすることで、他社と差別化することができ、より人材が集まりやすくなった。

健康づくり制度の導入効果

- ・従業員が、制度があることにより、安心して働くことができる。
- ・会社への信頼感が増した。
- ・健康管理の意識が向上した。
- ・採用説明時に健康制度の存在をアピールでき、安心して入社してもらえる。
- ・労働環境の向上につながる。



◆ 職場定着支援助成金（個別企業助成コース・雇用管理制度助成）の助成額

制度を導入した場合に**10万円**を助成するほか、雇用管理制度の運用を経て離職率低下目標を達成できた場合に**60万円**を助成します。

※職場定着支援助成金では、この他に、従業員の身体的負担軽減のために介護福祉機器の導入等を行った場合の助成、介護または保育事業主が賃金テーブルの整備を行った場合の助成を行っています。

詳細は、厚生労働省ホームページをご覧ください。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000053276.html>

その他の雇用関係助成金

新たに従業員を雇い入れる場合や、従業員の職業能力の向上を図る場合などに助成を行っています。詳細は、厚生労働省ホームページをご覧ください。

⇒http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/index.html

人材育成

従業員の育成を図る場合の助成金など、さまざまな支援策を用意しています。

詳細は、厚生労働省ホームページをご覧ください。

⇒ http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/shokugyounouyoku/for_employer/index.html

「魅力ある職場づくり」に活用できるツール・相談支援のご案内

厚生労働省では、「魅力ある職場づくり」に活用できる各種ツールの提供や相談支援を行っています。「魅力ある職場づくり」に取り組むにあたり、ぜひご活用ください。

「働きやすく生産性の高い職場のためのポータルサイト」

「働きやすく生産性の高い職場」のための情報を集めたポータルサイトです。雇用管理取り組み事例、助成金などの支援策や「働きやすく生産性の高い企業・職場表彰」等に関する情報を掲載しています。

⇒<http://www.koyoukanri.mhlw.go.jp/>



「働きやすい・働きがいのある職場づくり事例集」

「評価・処遇」「人材育成」「業務管理・組織管理」「人間関係管理」に取り組む中小企業の事例を、業種別・取り組み別に紹介しています。

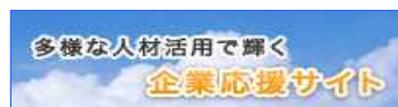
⇒http://www.mhlw.go.jp/chushoukigyuu_kaizen/example/index.html



「多様な人材活用で輝く企業応援サイト」

優秀な人材の確保、人材の定着、従業員のモチベーション向上を実現するため、正社員への転換、人材の育成、処遇の改善など、非正規雇用の労働者のキャリアアップに向けた取り組みを積極的にを行い、効果を上げている企業の事例などを紹介しています。

⇒<http://www.tayou-jinkatsu.jp/>



女性の活躍・両立支援総合サイト

企業における助成活躍の情報や、仕事と家庭（育児・介護などを含む）の両立に役立つ情報を掲載しています。

⇒<http://www.positive-ryouritsu.jp/>



「パート労働ポータルサイト」

パートタイム労働法の概要、自社診断や短時間正社員制度の導入・運用を支援するための情報など、パートタイム労働者が活躍できる職場環境づくりに役立つ総合的な情報を掲載しています。

⇒<http://part-tanjikan.mhlw.go.jp/>



「働き方・休み方改善ポータルサイト」

企業の皆さまが、自社の社員の働き方・休み方の見直しや、改善を図る際に役立つ情報を提供しています。

⇒<http://work-holiday.mhlw.go.jp/>



働き方・休み方改善コンサルタントによる相談

各都道府県労働局に配置された「働き方・休み方改善コンサルタント」が、長時間労働の抑制や年次有給休暇の取得促進など、働き方・休み方の改善に取り組む事業主などに対し相談、助言・指導を行っています。

⇒<http://www.mhlw.go.jp/kouseiroudoushou/shozaiannai/roudoukyoku/>

都道府県労働局 所在

検索

「65歳超雇用推進助成金」のご案内

概要

「65歳超雇用推進助成金」は、高齢者の雇用促進を目的として、**65歳以上への定年の引上げ、定年の定め廃止、希望者全員を対象とする66歳以上の継続雇用制度の導入**のいずれかを導入した事業主に対して行う助成制度です。

支給額

定年引上げ等の措置の内容に応じて、下表の金額を支給します。

65歳への定年引上げ	66歳以上への定年引上げまたは、定年の定め廃止	希望者全員を対象とする継続雇用制度の導入	
		66歳～69歳	70歳以上
100万円	120万円	60万円	80万円

※定年引上げと継続雇用制度の導入を合わせて実施した場合でも、支給額は定年引上げを実施した際の額となります。

受給手続きの流れ



主な支給要件

- 制度を規定した際に経費を要した事業主であること。
 - 制度を規定した労働協約または就業規則を整備している事業主であること。
 - 制度の実施日から起算して1年前の日から支給申請日の前日までの間に、高齢者雇用安定法第8条または第9条の規定に違反していないこと。
 - 支給申請日の前日において、当該事業主に1年以上継続して雇用されている60歳以上の雇用保険被保険者（※）が1人以上いること。
（※）短期雇用特例被保険者および日雇労働被保険者を除き、期間の定めのない労働契約を締結する労働者または定年後に継続雇用制度により引き続き雇用されている者に限ります。
- ※上記の他にも支給要件があります。

注意事項

- ・ 助成金の申請に関して、（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構が調査をしたり、報告を求める場合があります。期限までに機構の求める書類が提出されない場合、助成金は支給しません。
- ・ 不正受給を行った事業主は助成金の返還を求められることがあります。また、不正を行った事業主名を機構のホームページで公表し、悪質な場合は刑事事件として告発することがあります。
- ・ 機構に提出した書類や添付資料の写しなどは、支給決定されたときから5年間保存しなければなりません。

この助成金の支給要件や手続き等の詳細については、都道府県支部高齢・障害者業務課（東京支部、大阪支部は高齢・障害者窓口サービス課）へお問い合わせください。 ※各都道府県支部の窓口は裏面に掲載しています。

相談・申請の窓口一覧（各都道府県の支部高齢・障害者業務課）

	所在地	電話番号
北海道	〒063-0804 札幌市西区二十四軒4条1-4-1 北海道職業能力開発促進センター内	011-622-3351
青森	〒030-0822 青森市中央3-20-2 青森職業能力開発促進センター内	017-721-2125
岩手	〒020-0024 盛岡市菜園1-12-10 日鉄鉱盛岡ビル5階	019-654-2081
宮城	〒985-8550 多賀城市明月2-2-1 宮城職業能力開発促進センター内	022-361-6288
秋田	〒010-0951 秋田市山王3-1-7 東カンビル3階	018-883-3610
山形	〒990-2161 山形市大字漆山1954 山形職業能力開発促進センター内	023-674-9567
福島	〒960-8054 福島市三河北町7-14 福島職業能力開発促進センター内	024-526-1510
茨城	〒310-0803 水戸市城南1-1-6 サザン水戸ビル7階	029-300-1215
栃木	〒320-0072 宇都宮市若草1-4-23 栃木職業能力開発促進センター内	028-650-6226
群馬	〒379-2154 前橋市天川大島町130-1 ハローワーク前橋3階	027-287-1511
埼玉	〒336-0931 さいたま市緑区原山2-18-8 埼玉職業能力開発促進センター内	048-813-1112
千葉	〒261-0001 千葉市美浜区幸町1-1-3 ハローワーク千葉5階	043-204-2901
東京	〒130-0022 墨田区江東橋2-19-12 ハローワーク墨田5階	03-5638-2284
神奈川	〒241-0824 横浜市旭区南希望ヶ丘78 関東職業能力開発促進センター内	045-360-6010
新潟	〒951-8061 新潟市中央区西堀通6-866 NEXT21ビル12階	025-226-6011
富山	〒933-0982 高岡市八ヶ55 富山職業能力開発促進センター内	0766-26-1881
石川	〒920-0352 金沢市観音堂町へ1 石川職業能力開発促進センター内	076-267-6001
福井	〒910-0005 福井市大手2-7-15 明治安田生命福井ビル10階	0776-22-5560
山梨	〒400-0854 甲府市中小河原町403-1 山梨職業能力開発促進センター内	055-242-3723
長野	〒381-0043 長野市吉田4-25-12 長野職業能力開発促進センター内	026-258-6001
岐阜	〒500-8842 岐阜市金町5-25 住友生命岐阜ビル7階	058-265-5823
静岡	〒422-8033 静岡市駿河区登呂3-1-35 静岡職業能力開発促進センター内	054-280-3622
愛知	〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-2-28 名古屋第二埼玉ビル4階	052-533-5625
三重	〒514-0002 津市島崎町327-1 ハローワーク津2階	059-213-9255
滋賀	〒520-0856 大津市光が丘町3-13 滋賀職業能力開発促進センター内	077-537-1214
京都	〒617-0843 長岡京市友岡1-2-1 京都職業能力開発促進センター内	075-951-7481
大阪	〒566-0022 摂津市三島1-2-1 関西職業能力開発促進センター内	06-7664-0722
兵庫	〒650-0023 神戸市中央区栄町通1-2-7 大同生命神戸ビル2階	078-325-1792
奈良	〒630-8122 奈良市三条本町9-21 JR奈良伝宝ビル6階	0742-30-2245
和歌山	〒640-8483 和歌山市園部1276 和歌山職業能力開発促進センター内	073-462-6900
鳥取	〒689-1112 鳥取市若葉台南7-1-11 鳥取職業能力開発促進センター内	0857-52-8803
島根	〒690-0001 松江市東朝日町267 島根職業能力開発促進センター内	0852-60-1677
岡山	〒700-0951 岡山市北区田中580 岡山職業能力開発促進センター内	086-241-0166
広島	〒730-0825 広島市中区光南5-2-65 広島職業能力開発促進センター内	082-545-7150
山口	〒753-0861 山口市矢原1284-1 山口職業能力開発促進センター内	083-995-2050
徳島	〒770-0823 徳島市出来島本町1-5 ハローワーク徳島5階	088-611-2388
香川	〒761-8063 高松市花ノ宮町2-4-3 香川職業能力開発促進センター内	087-814-3791
愛媛	〒791-8044 松山市西垣生町2184 愛媛職業能力開発促進センター内	089-905-6780
高知	〒780-8010 高知市棧橋通4-15-68 高知職業能力開発促進センター内	088-837-1160
福岡	〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-10-17 しんくみ赤坂ビル6階	092-718-1310
佐賀	〒849-0911 佐賀市兵庫町大字若宮1042-2 佐賀職業能力開発促進センター内	0952-37-9117
長崎	〒854-0062 諫早市小船越町1113 長崎職業能力開発促進センター内	0957-35-4721
熊本	〒861-1102 合志市須谷2505-3 熊本職業能力開発促進センター内	096-249-1888
大分	〒870-0131 大分市皆春1483-1 大分職業能力開発促進センター内	097-522-7255
宮崎	〒880-0916 宮崎市大字恒久4241 宮崎職業能力開発促進センター内	0985-51-1556
鹿児島	〒890-0068 鹿児島市東郡元町14-3 鹿児島職業能力開発促進センター内	099-813-0132
沖縄	〒900-0006 那覇市おもろまち1-3-25 沖縄職業総合庁舎4階	098-941-3301

◆助成金の詳細は、厚生労働省と（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構のホームページにも掲載しています。

【厚生労働省】 http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/koureisha/index.html

【独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構】 <http://www.iad.go.jp/elderly/subside/>

平成29年度の活動予定 (富山県部会)

◆ 大学カリキュラムに連続講座を開設 (北陸地方整備局)

富山県立大学	
対象	1年生
学期	前期
概要(予定)	◆地域の物語 ◆個別事業+現場見学(×2)



富山県立大学1年生による現場見学の様子

◆ 建設系高校における講座の開設等 (北陸地方整備局・富山県・富山県建設業協会 等)

	富山工業高校			桜井高校			
	3年生	1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	
対象	3年生	1年生	2年生	3年生	1年生	2年生	
学期	1学期	2学期	2学期	1学期	2学期	2~3学期	
概要(予定)	◆ 現場見学 (建設業協会)	◆ 現場見学 (埋立浚渫協会) ◆ 講座 (建設業の魅力と役割)	◆ 現場見学 (建設業協会) ◆ 座学 (インフラの歴史と役割)	◆ 現場見学 (建設業協会)	◆ 現場見学 (宇奈月ダム)	◆ 現場見学 (海岸工事) ◆ 講座×2 (建設業の魅力と役割等)	
	高岡工芸高校			南砺福野高校			
	3年生	2年生	2年生	1年生	2年生	1・3年生	1・2年生
対象	3年生	2年生	2年生	1年生	2年生	1・3年生	1・2年生
学期	1学期	1学期	2学期	1学期	1学期	2学期	2学期
概要(予定)	◆ 現場見学	◆ 現場見学 (建設業協会)	◆ 現場見学 (建設業協会) ◆ 講座 (建設業の魅力と役割)	◆ 現場見学 (利賀ダム)	◆ 現場見学 (利賀ダム)	◆ 現場見学 (建設業協会)	◆ 講座 (建設業の魅力と役割)

※その他、関係機関個別に現場見学等を実施予定。

建設系学生・生徒への活動【インターンシップの充実】（富山県部会）

◆ 建設系高校生へのインターンシップ

- 対象学生：建設系学科の高校生
- 実習時期：概ね7月～10月
- 実習場所：県内の企業、官公庁
- 実習内容：勤労観・職業観の育成、就業体験
- 実施機関：建設コンサルタンツ協会、県建設業協会、測量設計業協会、北陸地方整備局
- ※ 従来の業団体との連携に加え、協議会として連携を図り、インターンシップを充実

◆ 大学・専門学校生へのインターンシップ （富山県インターンシップ推進協議会との連携）

- 富山県内の大学・専門学校が加盟する富山県インターンシップ推進協議会と連携を図り、インターンシップ情報・活動の充実を図る。
- 協議会加盟学校：富山大学、富山県立大学、富山国際大学、高岡法科大学、富山短期大学、富山高等専門学校
- 実施機関：県建設業協会、建設コンサルタンツ協会、測量設計業協会、地質調査業協会、富山県、北陸地方整備局

◆ 高校生を対象としたSABO体験楽校（北陸地方整備局）

県内の高校生を対象に、砂防現場の実体験や工事施工に携わる人々との交流を通し、学校の授業では得難い砂防の工事を実際に体験。

- 対象学生：富山県内の高校生10名
- 実習時期：夏休み中2泊3日
- 実習場所：北陸地方整備局 立山砂防事務所管内

◆ キャンプ砂防（北陸地方整備局）

- 目的：中山間地域の現状を実際に体験できる場を全国の学生に提供し、地域の抱える問題点、活性化の支援のあり方、防災対策のあり方を学び、中山間地域における砂防の意義・役割を考える。
- 対象学生：砂防を専攻する大学生、又は砂防に関心を持つ大学院・大学・高専の学生
- 実習時期：概ね7月～9月の1週間程度
- 実習場所：北陸地方整備局管内砂防事業所管事務所



インターンシップの流れ
（富山県インターンシップ推進協議会HPより）

H28 SABO体験



山腹工体験

情報化施工体験

H28 キャンプ砂防



コンクリート打設体験

普通高校・中学・小学校（保護者や教員等含む）等への取り組み（富山県部会）

◆ 社会に学ぶ 14歳の挑戦（富山県教育委員会）

行動領域が広がり活動が活発になる中学2年生が、1週間、学校外で職場体験活動や福祉・ボランティア活動等に参加することにより、規範意識や社会性を高め、将来の自分の生き方を考えるなど、成長期の課題を乗り越えるたくましい力を身につけることを目指す。

- 時 期： 地域や学校の実情等を踏まえて設定
- 期 間： 1週間（実際の活動は土日を除く5日間）
- 対 象： 県内全公立中学校で実施



冊子：14歳の挑戦

◆ 立山カルデラ砂防体験学習会（富山県立山カルデラ砂防博物館）

立山カルデラを実際に訪れ、自然・歴史と砂防を自分の目で確かめる。

- 日 時：平成29年7月～10月秋
- 参加資格：小学3年生以上（小学生は保護者同伴）。
- 内 容：立山カルデラまでの移動手段として、立山砂防事務所の砂防工事専用軌道のトロッコ列車を利用するコース。立山カルデラまでの移動にバスを利用するコース。本宮砂防えん堤、護天涯の碑・噴泉、白岩砂防えん堤を巡る（文化遺産巡りコース）白岩砂防えん堤を見学後、常願寺川下流の大転石などを巡る（常願寺川流域コース）



立山カルデラ砂防体験学習会の様子

◆ 県政バス教室の実施（富山県）

子ども達を対象とした県政バス教室「富山どぼく発見！ツアー」の開催を予定。

◆ 土木事業を紹介する小冊子の作成（富山県土木部）

各種の土木事業を紹介する小冊子「とやまの土木」を作成し、県内全ての学校へ配布。



普通高校・中学・小学校（保護者や教員等含む）等への取り組み（富山県部会）

◆ 市民現場見学会の実施（日本建設業連合会 北陸支部）

平成29年度に大学生や高専学生の夏季休暇期間（7月～9月）に現場見学会を予定。

◆ 建設コンサルタントをPRする冊子の配布（建設コンサルタンツ協会北陸支部）

建設コンサルタントの「仕事と魅力」の理解促進を図る「社会貢献活動」の一環として、北陸支部管内の小学校、中学校へ「出前講座」のチラシ等を配布予定。

◆ 「とやま建設フォトコンテスト」（県建設業協会）

広く一般の方々を対象に、建設業に関心、理解を深めてもらうための広報として写真を募集・表彰
募集期間：10月～翌1月

◆ インフラツーリズム（県測量設計業協会）

高校生を対象に、先人たちの知恵や功績を知ってもらうために、県内の土木遺産や施設などを見学し、土木への関心を高める。H29活動に向けては、協会員企業の若手技術職員から業界の「魅力発信」等の方策に関して意見を聴いた上で、時期、対象、方法を計画予定。

◆ 小学校での測量教室の開催（県測量設計業協会）

国土地理院北陸地方測量部の協力を得て地図教室と測量教室を実施予定。実習では測量機器の説明・実習のほか、身近なものを利用して「測る」知恵を学んでもらう。

◆ 現場見学会の実施（県建設業協会、県地質調査業協会）

小学生と保護者を対象に現場見学会及び子供防災教室を実施予定。



第7回 とやま建設フォトコンテスト 特選



富山市立柳町小学校での測量教室
「地図教室と測量体験学習」



H28親子現場見学会の様子

その他の取り組み（富山県部会）

◆ 女性も活躍する建設業界に向けた情報発信・環境改善

女性の視点で発掘した建設業の重要性や魅力をPRするためのパンフレット「TSUKURU」（H28年度作成）を配布。（富山県・県建設業協会）

建設現場の環境改善に向けたけんせつ小町と女子学生の対談を実施予定。（北陸地方整備局）



TSUKURU 目次

◆ 将来の建設業を担う人材の入職・定着・育成（富山県）

①労働環境改善

トイレ、シャワー室の設置、空調服の導入、労働条件改善のための社内規定の整備などへの支援

②資格取得、技能研修等の実施

在職者で、建設現場で必要とする土木・建築施工管理技士やクレーン操作等への支援

③雇用型訓練を委託

新たに中途採用で女性や若者の技術者等を雇用して人材育成を行う建設企業への支援



けんせつ小町と女子学生による座談会の様子

◆ 講座、研修の充実（県建設業協会）

①就職直前技能向上研修

次代を担う若者に対しスムーズな入職と定着の促進を図るため、理解が深まるよう就職直前技能向上研修を企画・検討

②新入社員フォローアップ研修

生活環境の変化と業務に追われる毎日から、悩みや不安を解消できず自分を見失いがちにならないよう新入社員フォローアップ研修を充実。

③建設業資格取得支援講座

土木施工管理技術検定試験や建設業経理士試験の取得に対し、試験直前の対策講座を実施。建設業への魅力や仕事に対する理解を深めてもらい、担い手確保を促進。

平成29年度 建設系学生・生徒への取り組み 講座開設等における役割分担(案)

◆大学カリキュラムの連続講座の開設

H28.12 時点

機関	学年	回数	カリキュラム	H29予定	(参考)H28実績		(参考)H27実績	
富山県立大学	(1年生) 前期	1回目	地域の物語	立山砂防 or 富山河国	立山砂防(総論)	6月24日	富山河国(総論)	6月19日
		2回目	個別事業+現場		立山砂防(砂防)	7月5日	富山河国(道路)	6月26日
		3回目	個別事業+現場	利賀ダム工事	利賀ダム工事	7月30日	伏木富山(港湾)	7月3日
							富山河国・伏木富山	7月10日

H29年度の開催時期・実施内容は学校側と今後調整

富山大学	H29年度以降、調整							
------	------------	--	--	--	--	--	--	--

◆建設系高校における講座の開設等

機関	学年	回数	カリキュラム	H29予定	(参考)H28実績		(参考)H27実績	
富山工業	3年生	1学期	現場見学 (建設業協会主催)	建設業協会(行政連携)	建設業協会 (富山県)	7月12日		
	1~3年生	夏期	現場見学 (SABO体験学校)	立山砂防	立山砂防	8月2~4日	立山砂防	8月4~6日
	1年生	2学期	現場見学 (埋立浚渫協会共催)	伏木富山港湾	伏木富山	9月6日	伏木富山港湾	9月8日
	2年生	2学期	現場見学 (建設業協会主催)	建設業協会(行政連携)	建設業協会 (富山河国・富山県)	9月23日	富山市・富山県・富山河国	9月25日
	2年生	2学期	座学 (インフラの歴史と役割)	伏木富山港湾	伏木富山・富山河国	12月9日	伏木富山港湾	12月11日
	1年生 +保護者	2学期	講座 (建設業の役割と魅力)	富山県・建設業協会	富山県・建設業協会	12月13日		
桜井高校	3年生	1学期	現場見学 (建設業協会主催)	建設業協会(行政連携)	建設業協会 (黒部河川・富山県)	6月3日	富山県・黒部河川	5月29日
	1~3年生	夏期	現場見学 (SABO体験学校)	立山砂防	立山砂防	8月2~4日	立山砂防	8月4~6日
	2年生	2~3学期	現場見学 (海岸工事)	黒部河川	黒部河川	10月6日	黒部河川	9月28日
	1年生	2学期	現場見学 (宇奈月ダム見学)	黒部河川	黒部河川	10月25日	黒部河川	10月27日
	2年生 +保護者	2学期	講座 (建設業の役割と魅力)	富山県・建設業協会	富山県・建設業協会	12月19日		
	2年生	3学期	講座	黒部河川	黒部河川	2月	黒部河川	2月16日
高岡工芸	3年生	1学期	現場見学	富山河国	富山河国	7月13日	富山河国	7月2日
	2年生	1学期	現場見学 (建設業協会主催)	建設業協会(行政連携)	建設業協会 (富山県)	7月15日		
	2年生	2学期	現場見学 (建設業協会主催)	建設業協会(行政連携)	建設業協会 (富山河国・富山県)	9月30日	高岡市・富山県・富山河国	10月2日
	2年生 +保護者	2学期	講座 (建設業の役割と魅力)	富山県・建設業協会	富山県・建設業協会	12月12日		
南砺福野	1年生	1学期	現場見学	利賀ダム工事	利賀ダム工事	7月12日	利賀ダム工事	7月10日
	2年生							
	1~3年生	2学期	現場見学 (建設業協会主催)	建設業協会(行政連携)	建設業協会 (富山河国・富山県)	10月18日	富山県・伏木富山・富山河国	10月20日
	1~2年生 +保護者	2学期	講座 (建設業の役割と魅力)	富山県・建設業協会	富山県・建設業協会	10月1日		

H29年度の開催時期・実施内容は代表事務所と学校側で今後調整

平成29年度の活動予定（※自由様式）

機関名・団体名：黒部河川事務所

1. 桜井高校において平成28年度に実施した活動を平成29年度も継続実施する。
2. 上記活動に際し、引き続き、建設業協会入善支部において共催の立場で協力をお願いします。
3. 実施にあたっては、今年度の内容を検証し、より充実した内容で取り組むようにしたい。

平成29年度の活動予定（※自由様式）

機関名・団体名：利賀ダム工事事務所

- ・発注者側の親子を対象とした現場見学会、受注者側の親子を対象とした現場見学会を新たに開催する予定。
- ・平成28年度に実施した親子参加の現場見学会において、児童達にケーブルクレーン操作の体験をしてもらったところ、大変好評（※1）であった。このため、平成29年度も可能な範囲で体験型の現場見学会を企画する予定。
- ・平成29年度の工事は、前年に引き続きダム工事用道路の建設（大規模アーチ橋など）を予定。
- ・土木系の学生に対しては現場見学と合わせて座学により建設界の魅力を伝える予定。

※1 ケーブルクレーン操作の体験をしてもらった現場見学会における参加者のアンケート結果

親	実際に見ると、スケールが大きく橋の現場を見たことがなかったので感動しました。子どもにも興味を持つように分かりやすく説明して頂きうれしかったです。
子	橋が高くてキレイだった
親	子どもに分かりやすく説明頂き、ありがたかったです。
子	クレーンの操縦ができて楽しかったです。
親	子どもがクレーンを動かしてみても喜んでいました。楽しい見学になりました。ありがとうございました。
子	クレーンを動かせたのが感動して、また来たいなと思いました。
親	子どもに普段出来ない体験をさせて頂きありがとうございました。とても良い夏休みの思い出になりました。
子	クレーン操作が楽しかったです。
親	子どもにも分かる説明、楽しめる見学となっていたので、子ども・大人ともに良かったと思いました。
子	（工事用エレベーターに乗った絵を描いてくれました）

平成29年度の活動予定（※自由様式）

機関名・団体名：富山県

件名

担い手確保・育成に向けた取り組み状況について（報告）

要旨

○平成28年度の取り組み状況

1) 将来の建設業を担う人材の入職・定着・育成

- ①トイレの改修やシャワー室の設置、空調服の導入、労働条件改善のための社内規定の整備など、働きやすい職場になるような**労働環境改善への支援**を実施。
(厚生労働省の「地域創生人材育成事業」を活用し)
- ②在職者を対象に、建設現場で必要とする土木・建築施工管理技士等の**資格取得支援**やクレーン操作等の**技能研修等の実施に対する支援**を実施。
- ③新たに中途採用で女性や若者の技術者等を雇用して人材育成を行う建設企業に対して**雇用型訓練を委託**。

2) 建設企業が雇用できる環境づくり（公共事業や建設業のイメージアップ）

- ①将来の建設業の担い手である子ども達を対象とした**県政バス教室「富山どぼく発見！ツアー」**の開催。(H28.7)
- ②橋の模型製作を体験し、橋づくり技術の理解や面白さを通じて土木への関心を深めってもらう**「親子ふれあい見学会」**の開催。(H28.7)
- ③各種の土木事業を紹介する小冊子**「とやまの土木」**を作成し、県内全ての学校へ配布。
(富山県建設業協会と共同で)
- ④女性の視点で発掘した建設業の重要性や魅力をPRするためのパンフレット**「TSUKURU」**を作成し、配布。
- ⑤県立大学のダ・ヴィンチ祭において**「建設業のブース」**を設け、新技術の紹介等を実施。(H28.8)
- ⑥土木系高校において建設産業の魅力を発信する**「出前講座」**を開催。(H28.10～12)

※平成29年度も今年度の取り組みを基に、継続した活動を予定しています。

平成29年度の活動予定（※自由様式）

機関名・団体名：日本建設業連合会 北陸支部

- ① 「親子工事見学会」については、土木学会新潟会との共催で小学校高学年を対象にした新潟地区・長岡地区での開催を引続き予定しています。
見学場所は6月頃に選定し、開催は夏休み期間中に設定して、特に保護者の皆様の理解が深まるような企画を検討していきます。
(現時点では来年度の富山県・石川県での開催は予定しておりません)
- ② 「市民現場見学会」については、担い手協議会新潟部会の計画に基づき、今年度は新潟大学の学生を対象として開催いたしました。引き続き富山、石川方面の見学会も検討していきます。
見学場所は6月頃に選定し、開催時期は見学会対象者である石川富山地区の大学生や高専学生の夏季休暇期間（7月～9月）に設定して、準備を進める予定です。

※日建連北陸支部として、北陸支部管内で広く活動が実施されるように、複数個所での見学会の企画・実施運営を今後も進めてまいります。

平成29年度の活動予定（※自由様式）

機関名・（一社）富山県建設業協会

・平成28年度に取り組みを行った、「現場見学会・出前講座・保護者を対象とした意見交換・インターシップ等」を継続し実施するとともに、以下の各種講座及び各研修の充実を図っていくこととする。

① 就職直前技能向上研修

→ 近年、離職率が高止まりしているなかで、次代を担う若者に対しスムーズな入職と定着の促進を図るため、その理解が深まるよう学校側の要望等も踏まえ、企画・検討する。

② 新入社員フォローアップ研修

→ 新入社員にとって日々の仕事が全て新しい発見であるとともに、一方で生活環境の変化と業務に追われる毎日から、悩みや不安を解消できず自分を見失いがちにならないよう、企業側の要望等も踏まえその充実を図っていく。

③ 建設業資格取得支援講座

→ 土木施工管理技術検定試験や建設業経理士試験の取得に対し、試験直前の対策講座を実施しており、今後も資格取得によって建設業への魅力や仕事に対する理解を深めてもらい、担い手確保につなげたい。

平成29年度の活動予定（※自由様式）

機関名・団体名：（一社）富山県測量設計業協会

今年度まで行っていた黒部関電ルートをめぐる、「インフラツーリズム」を見直す。
そのため、平成29年1月31日（月）に協会事務所に協会員企業から10代・20代の技術職員に集まっ
てもらい、次のようなテーマについて意見を聴く会合を開く。

- ①測量設計業に興味を持ってもらうには？
- ②測量設計業の魅力の発信について。
- ③若手技術者自身が今業界内で何に興味がありますか？

など、以上の意見より時期、対象、方法を絞り込み平成29年度の活動を計画していく。

平成29年度の活動予定（※自由様式）

機関名・団体名：富山県地質調査業協会

○今年度の活動の取り組みについて

1 子供防災教室の実施

子供防災教室として、常願寺川流域の小学生を対象にした防災教育の体験学習会を立山カルデラ内で実施しました。今年度で4回目の実施となります。

今回は富山市立大庄小学校5年生43名の参加でした。

子供たちの感想は、「砂防工事をしている人たちに感謝しながら生活したい。」でした。

2 災害地調査の実施

毎年、協会主催で国内の災害地を調査しています。

今年度は、今年4月に発生した熊本地震の災害地の調査を実施しました。

調査は、竹内章富山大学名誉教授を調査団長にして、会員など20名の参加でした。

その中に、今年4月から富山県立大学客員教授に就任された大野宏之氏（前国土交通省砂防部長）と富山県立大学学生2名が参加されました。

参加した学生の感想は、「災害復旧工事には感動しました。進路の良い指針になった。」でした。

3 インターンシップでの協会各社への受け入れは、今年度はありませんでした。

○次年度以降の取り組みについて

子供防災教室と災害地調査は、次年度以降も実施していきたい。

インターンシップについて、ホームページなどでPRして学生の受け入れをするなどの取り組みを引き続きおこなっていきたい。

議題及び報告事項（※自由様式）

機関名・団体名：富山県立大学

【報告事項】

- ・ 県内唯一の土木系大学の拡充の一環として、H29年4月入学者より定員を15名増加させ1学年55名となります。今後一層、基礎学力教育の充実をさせ、県内にも多くの人材を供給できる体制になりつつあります。
- ・ 同様に、学科名称もこれまでよりも社会にわかりやすい「環境・社会基盤工学科」と変更いたします。
- ・ 「土木施工」、「測量」、「土質・地盤工学」、「構造力学・構造設計」、「コンクリート工学」分野の教育が必要、強化すべきという県内業界からのご意見を賜り、教員を増加させる予定です。

議題及び報告事項（※自由様式）

機関名：富山県立桜井高等学校土木科

件名

学校と行政機関・建設団体との連携（報告）

平成28年度の取り組み

①現場見学会

1年生 10月 宇奈月ダム見学(土木に興味を持たせる講座)

2年生 9月 下新川海岸護岸工事(土木工事の必要性を理解できる現場)

3年生 6月 沖田川放水路・富山駅連続高架工事(土木工事の施工方法、目的の理解)

②インターンシップ 3～5日(7～8月)

2年生 官公庁および建設会社等

③出前講座

3年生 6月 業務説明会(国土交通省北陸地方整備局)

・公務員の仕事

・公務員と民間企業との違い等

2年生 12月 型枠工について(日本型枠工事業協会富山支部)

・型枠工事についての理解

・型枠実習(8人5班で型枠作成)

2年生 12月 建設業の役割と魅力(富山県、富山県建設業協会)

・建設業の魅力等について

富山県より

・建設業に携わっている卒業生からの話

立山土木事務所より

大高建設株式会社より

桜井建設株式会社より

・経営者からの話

大高建設株式会社 代表取締役社長

共和土木株式会社 代表取締役社長

○今後も同様な取り組みを行い、建設業への興味関心を高め、建設業を生涯の仕事として選択できるように指導していきたい。

議題及び報告事項（※自由様式）

機関名 高岡工芸高校

【現場見学会での新たな取組】

○ 7/13 主催 富山河川国道事務所
 場所 砺波東バイパス
 参加者 土木工学コース3年生

○ 9/30 主催 富山県建設業協会
 場所 小杉婦中線、守山川、茅焔橋
 参加者 土木工学コース2年生

・現場体験実習

非破壊検査、鉄筋の結束、ボルト締め、最新測量機器(3Dレーザースキャナ、ドローン)体験

・若手技術者による講話(建設現場の魅力や苦労話)

・・・生徒たちはたいへん興味関心をもち、建設界への魅力を強く感じたようである。

【出前講座】

○ 12/12 主催 富山県土木部建設技術企画課
 場所 高岡工芸高校
 参加者 土木環境科・建築科2年生79名、保護者5名

県から建設業の役割と魅力について説明があり、本校OBの土木・建築技術者の方から体験談をまじえていろいろな話を聞いた。生徒たちは年齢の近い先輩に親近感を感じて話に聞き入っていた。

【最近の進路状況】

	土木工学 コース生徒数	進学		就職		建設系への進路決定率	
		建設系	その他	建設系	その他	全体	建設系への 就職者のみ
H24年度卒	23名	8		15		17/23	13/23
		4	4	13	2	74%	57%
H25年度卒	16名	5		11		12/16	9/16
		3	2	9	2	75%	56%
H26年度卒	20名	5		15		18/20	14/20
		4	1	14	1	90%	70%
H27年度卒	19名	5		14		19/19	14/19
		5	0	14	0	100%	74%
H28年度 (内定)	19名	6		13		17/19	13/19
		4	2	13	0	90%	68%
H29年度 (現2年生)	29名						
(H24～H28) 5年間平均						86%	65%

議題及び報告事項（※自由様式）

機関名・団体名：南砺福野高校

【取り組み状況】

- ・本校は、農業環境科の中の1つの類型（専攻）としての位置づけのため、選択者が少ない。
- ・1年次には土木事業の大切さについて、学校での簡単な測量実習や県建設業協会、国交省、農林省主催の各現場見学を通して理解させている。
- ・本年度は3年生で類型選択者は8名。就職4名のうち、2名が建設会社に就職内定している。
- ・毎年、状況は変わり、個人の希望等で数字に現れたりそうでない年もあるが、今後とも変わらず情報提供などの支援をお願いしたい。

- ・本年度は公務員の受験はいなかった。
地元志向が強い生徒が多かったためであるが、「試験内容や合格できる点数」「公務員と一般の企業が1つの土木事業にどのように関わり、どの部分を受け持つか」「農水省と国交省での土木事業の違い」などの違いがわかれば、生徒は進路の1つとして考えられると思う。

議題及び報告事項（※自由様式）

機関名・団体名：利賀ダム工事事務所

【議題提案】

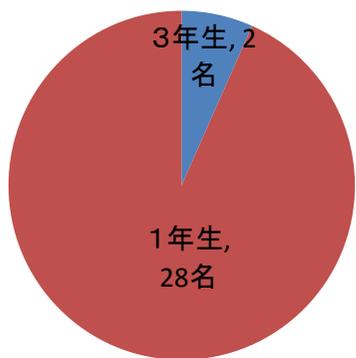
- ・現場見学会等の取り組みをより効果的に実施するため、どのような体験をしたいのか。また、土木系学生の志望動機などを共有したい。

（参考）平成28年度の土木系学生へのアンケート結果より

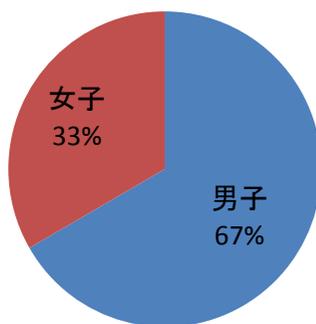
- ・ 最新の技術がどのように使用されているのかを見たり聞いたりしたかったが、丸型の鉄管を3本組み合わせて作るというめずらしい造りの橋を見ることができたから満足している。（大学1年生）
- ・ 現場の雰囲気と実際に何をしているかということを見たり聞いたりしたかったが、大規模な工事を目の当たりにし、とても迫力がありました。また、何故橋や道路を作っているかも明確に分かったから満足している。（大学1年生）
- ・ どれだけの人間がこの事業に関わっているのか気になる。（大学1年生）
- ・ 巨大な橋やダムをどのようにして造っているのか、疑問に思っていたが、ある程度の概要が分かったので良かった。（大学1年生）
- ・ 去年も見学をして、工事が進んでいて、より深く知ることができた。（高校2年生）
- ・ 女性の●●高校卒業生が●●工業で働いていることを知って、土木環境は、男女どちらでもできる仕事なんだなと思いました。（高校1年生）
- ・ 建設現場はとても危険なところなのでケガ人がでないように工夫してあるところがすごいと思いました。（高校1年生）
- ・ ダムを作る以外にも、生態系の調査や、橋を作る事などしないといけないのが、とても大変だと思いました。でも、それだけ大変だからやりがいのある仕事なのかなと思いました。それと、危険な仕事だと思うので、安全に仕事をして欲しいと思いました。（高専1年生）

H28.10.18 南砺福野高校生現場見学会 アンケート結果 (1/2)

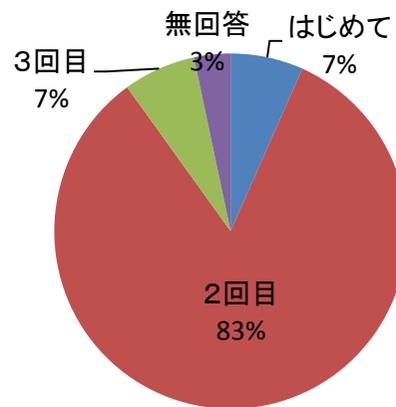
1. 学年・性別、これまでの見学会や体験会の参加回数



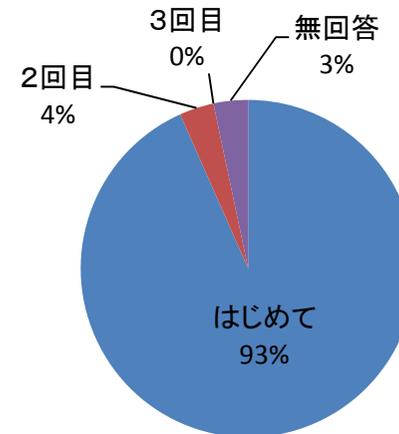
学年



性別



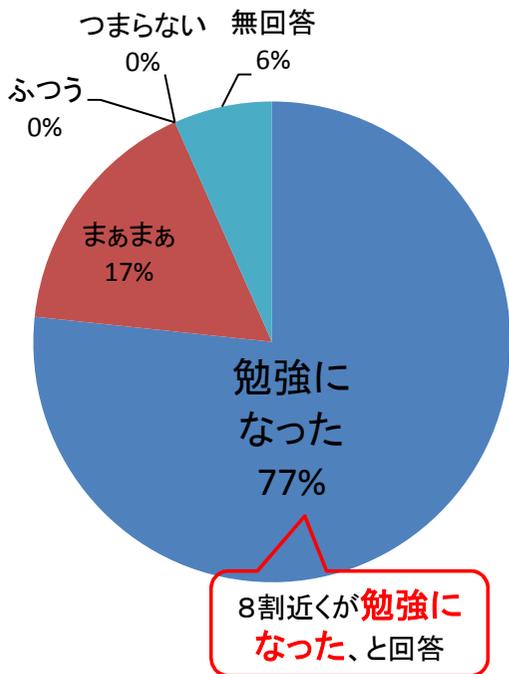
見学会参加回数



体験会参加回数

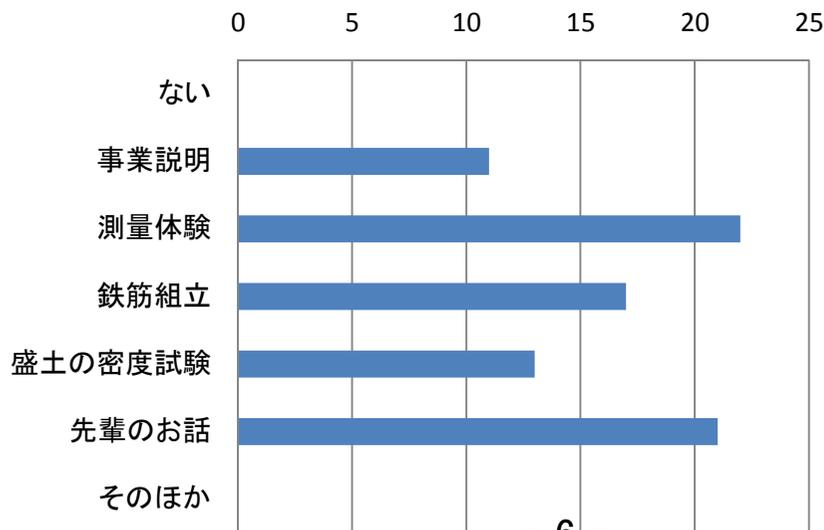
2. 見学会、体験会について

①勉強になりましたか

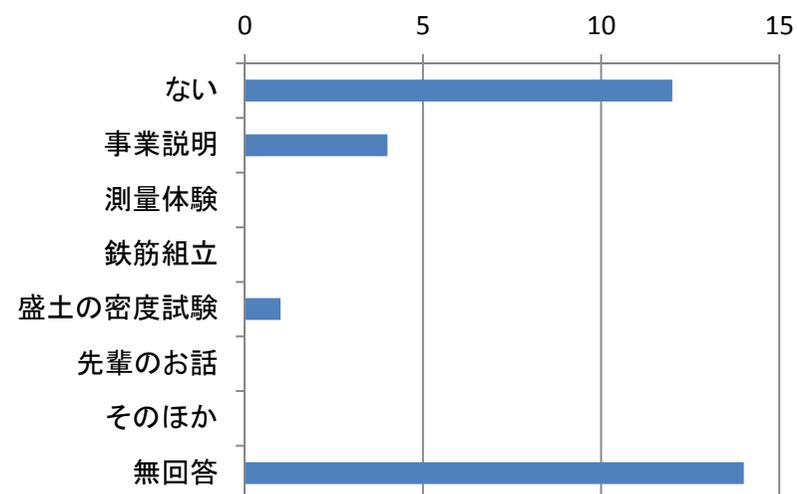


②何が「勉強になった」「つまらなかった」ですか【複数回答】

<勉強になった>

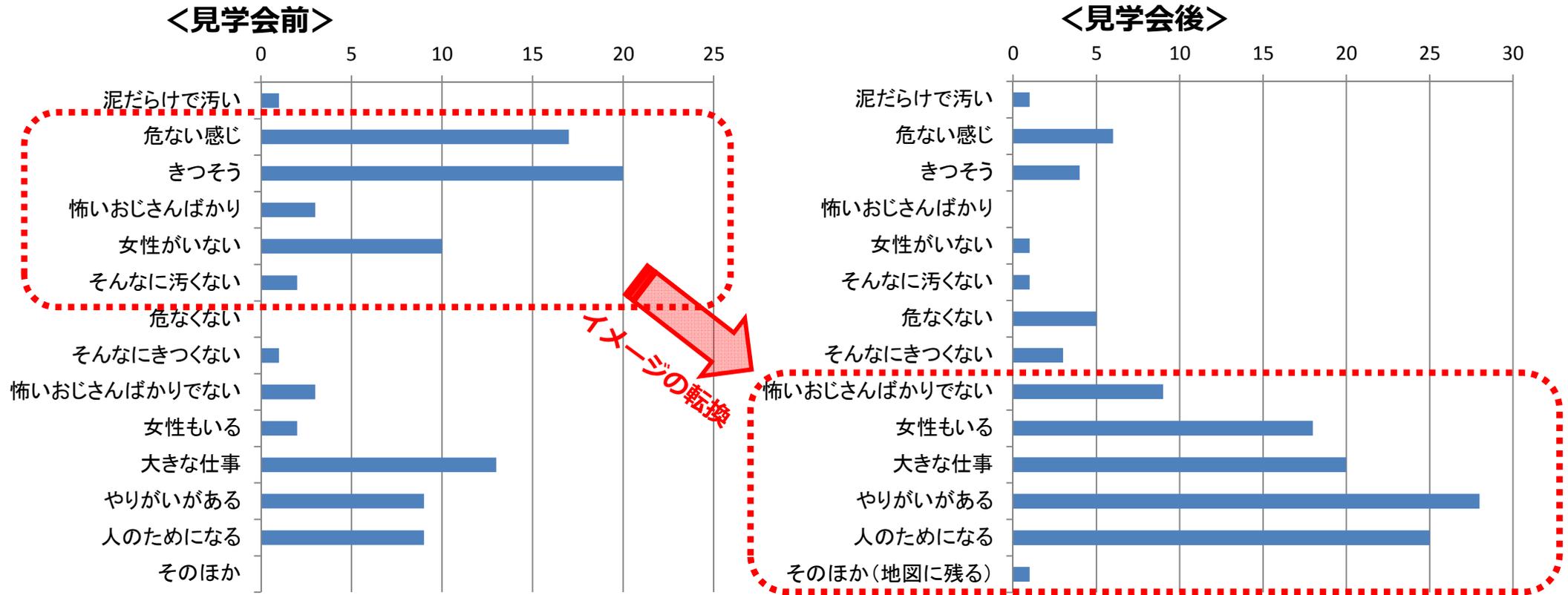


<つまらなかった>



H28.10.18 南砺福野高校生現場見学会 アンケート結果 (2/2)

3. 見学会前・見学会後での土木建設現場の印象はどうでしたか【複数回答】



4. 土木の仕事に魅力を感じていましたか、見学会を通じて変わりましたか

